

データの可視化で見えてくる 都市の今と未来

奈良 和紘

目次

- 1. オープンデータで描く都市の姿
- 2. オープンデータで占う都市の未来
- 3. データ可視化って難しい？

自己紹介

奈良 和紘（なら かずひろ）

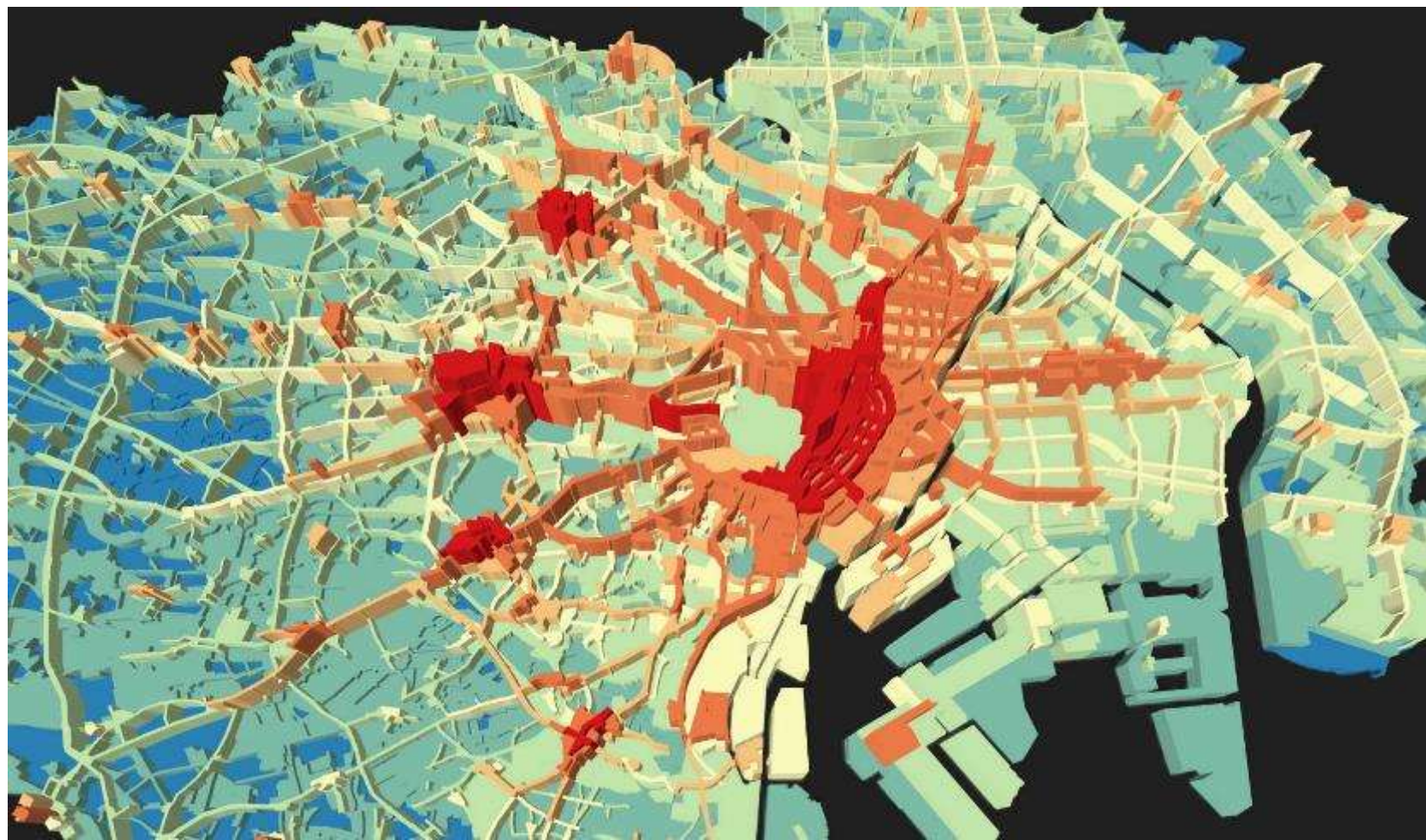
- 2006年～ 通信事業者でクラウドサービス等の開発に従事
- 2017年～ 現職（リスクコンサルティング会社）
 - DX案件の推進
 - ビジネスとITの橋渡し
 - みんなの相談相手
- プライベートでは都市・交通や防災・減災に関心
 - 仕事や子育ての空き時間にできる趣味として「オープンデータを使った都市の可視化」を始める
 - 中間成果物をSNSに投稿 →徐々にライフワークに？

こんなもの
作ってます

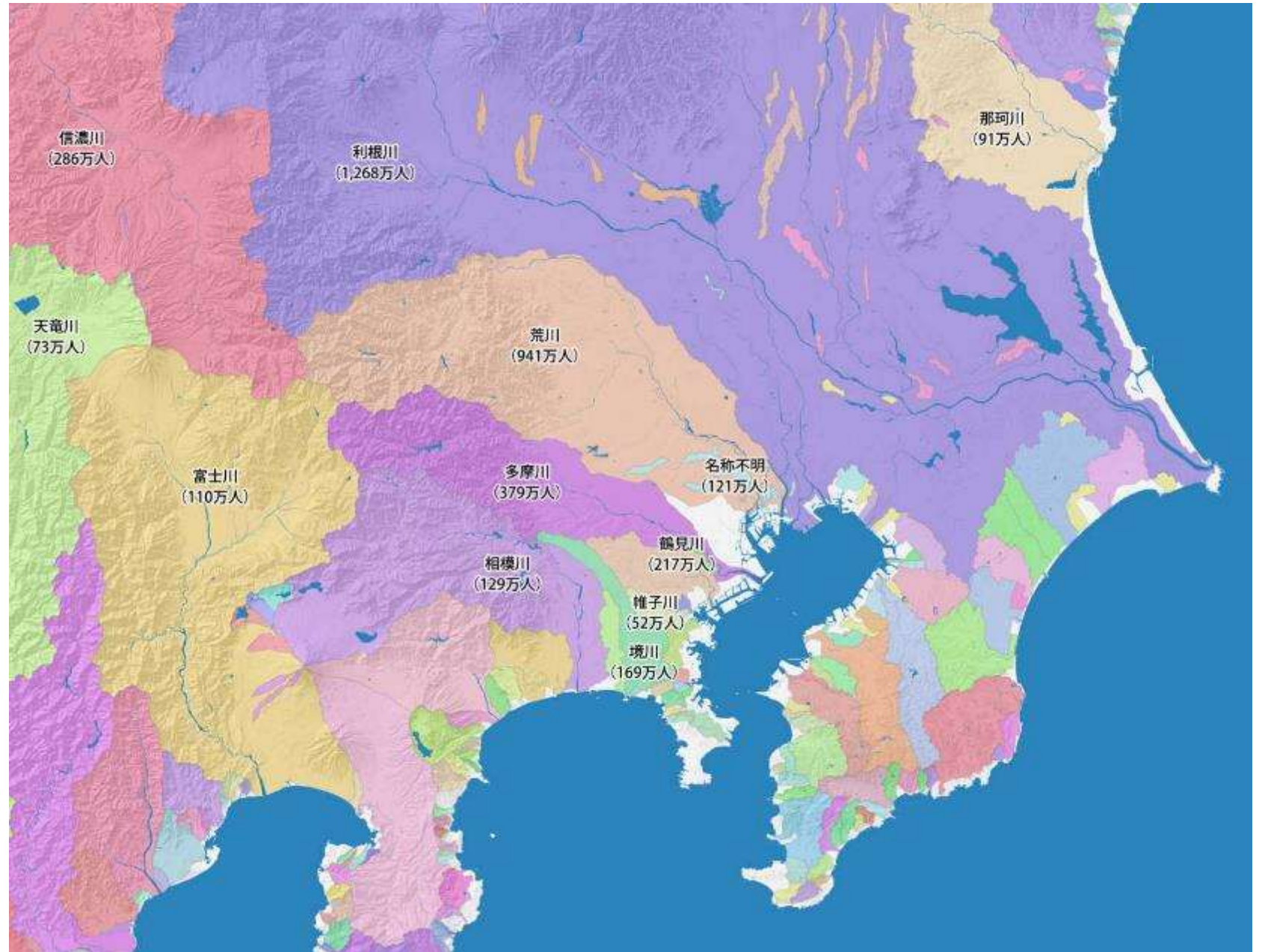
こんなもの
作ってます



こんなもの
作ってます



こんなもの
作ってます



時には
空想地図も



1. オープンデータで描く都市の姿

オープンデータ × 可視化

- ・ オープンデータの拡充
→ 「都市の現状分析」に必要な情報へのアクセスが容易に

政府

人口・世帯

労働・賃金

企業・家計・経済

住宅・土地・建設

運輸・観光

自治体

教育・子育て

防災・災害計画

まちづくり

健康・医療・福祉

観光

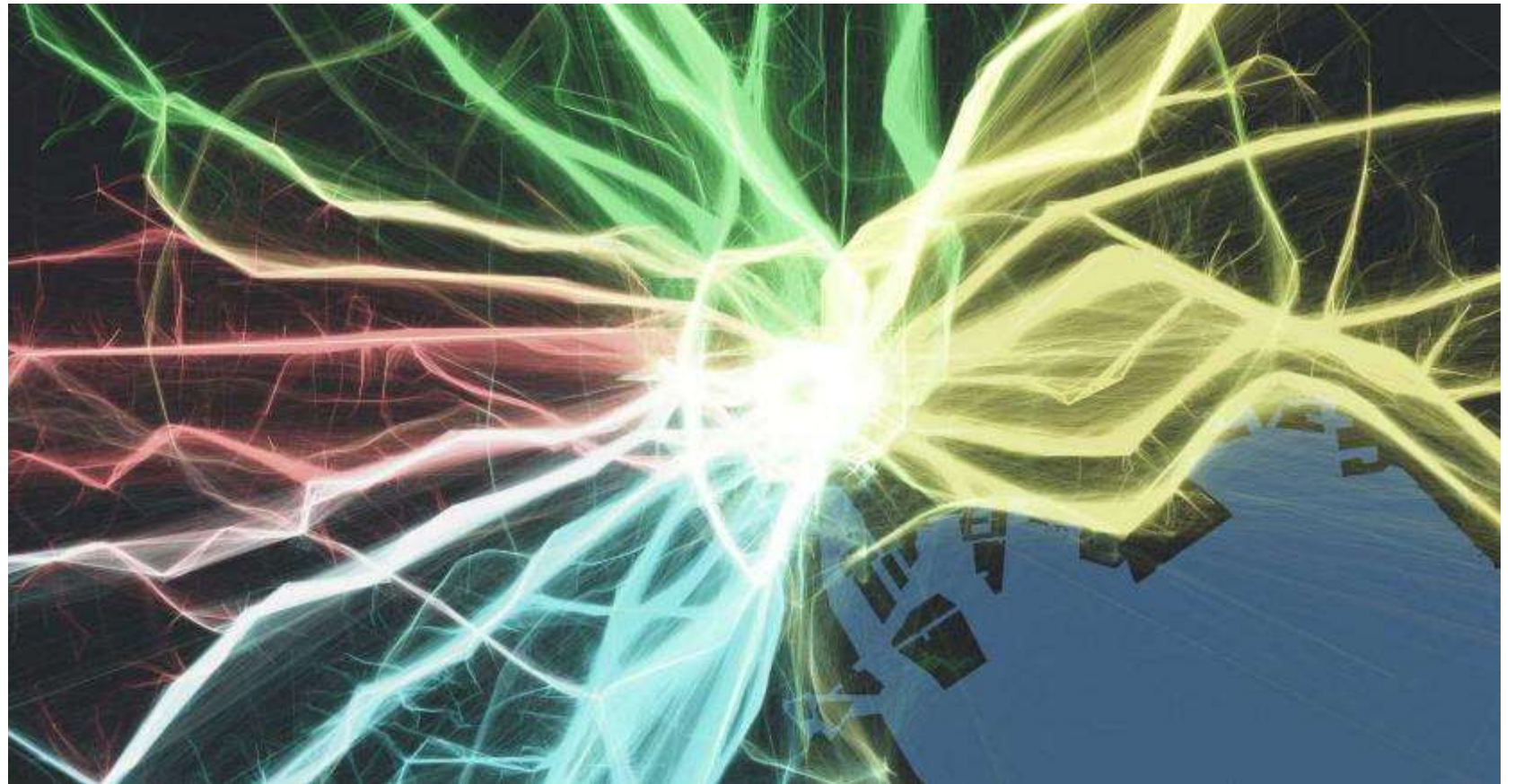
民間企業・大学

人流・滞在人口

観光・まち・etc

オープンデータ × 可視化

- コンピュータの性能向上
→莫大なデータの整形・加工～統計処理のワークフローを
手元のパソコンで回せる時代に！
- GISやBIツール（Business Intelligence）の発達
→「魅せる視覚化」が手軽にできるように

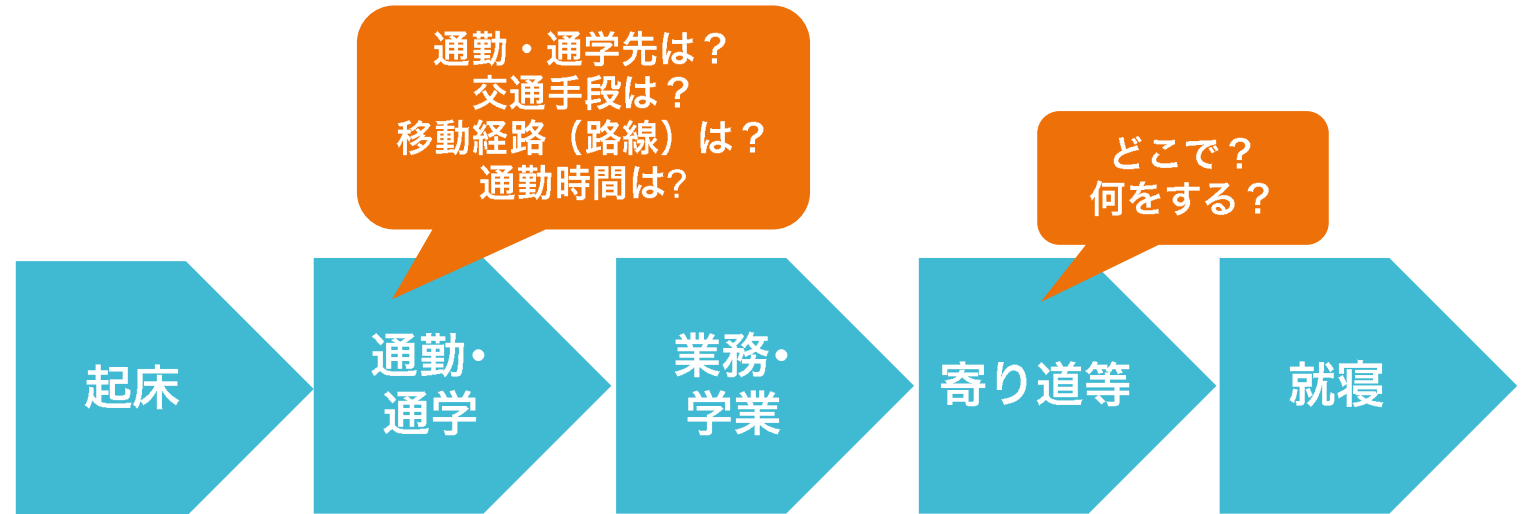


株式会社Agoop「ポイント型流動人口データ」（第3回東京公共交通オープンデータチャレンジ）

- 市民の一日の行動に着目し、
人の流れや居場所、滞在人口を可視化

データ可視化で みえるもの

①日常生活



- ・ 休日の過ごし方・過ごす場所などを分析

データ可視化で
みえるもの

② 非・日常生活

観光

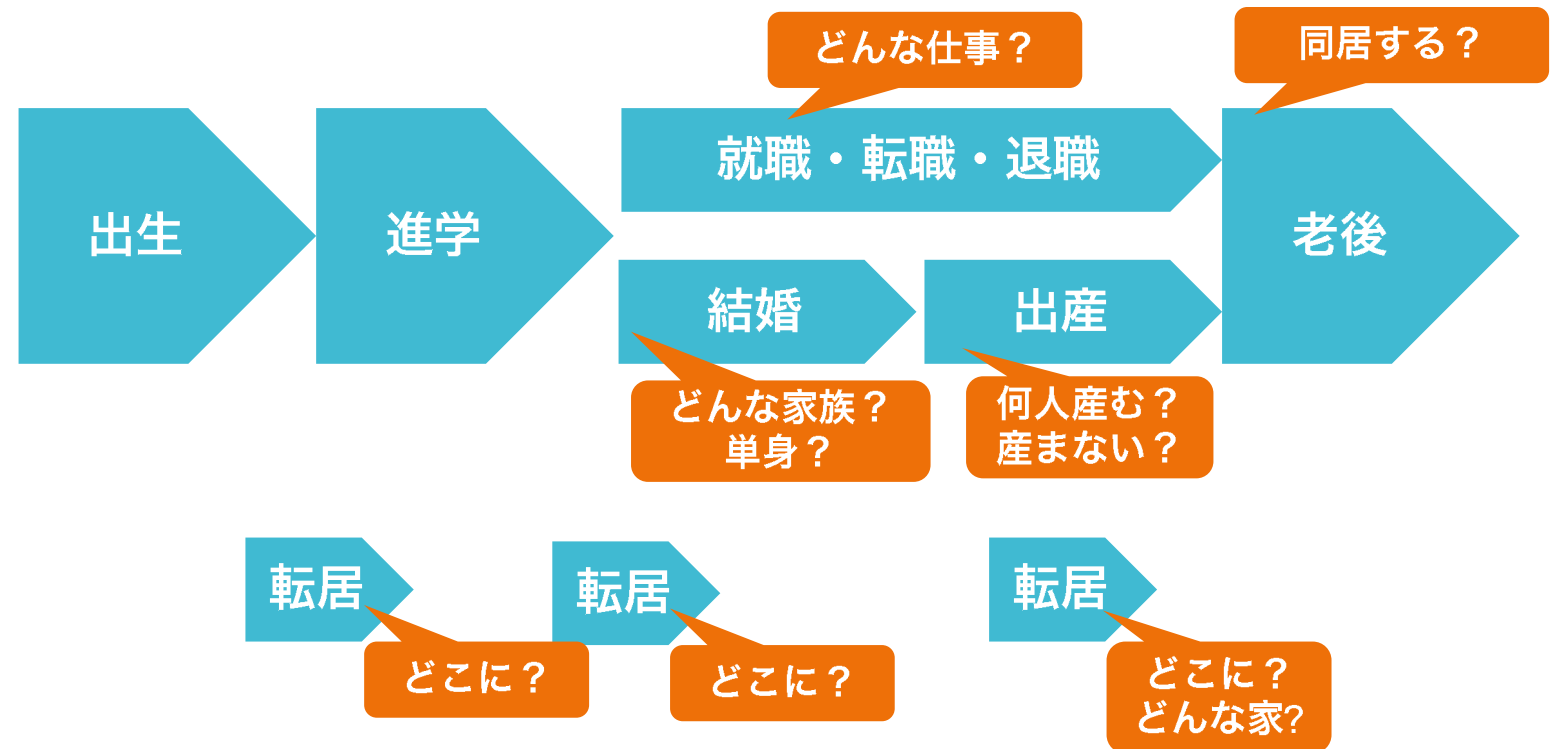
消費

外食

データ可視化で
みえるもの

③ライフステージ

- 市民のライフステージに着目し、それぞれの局面で発生する人の動きや行動選択を可視化

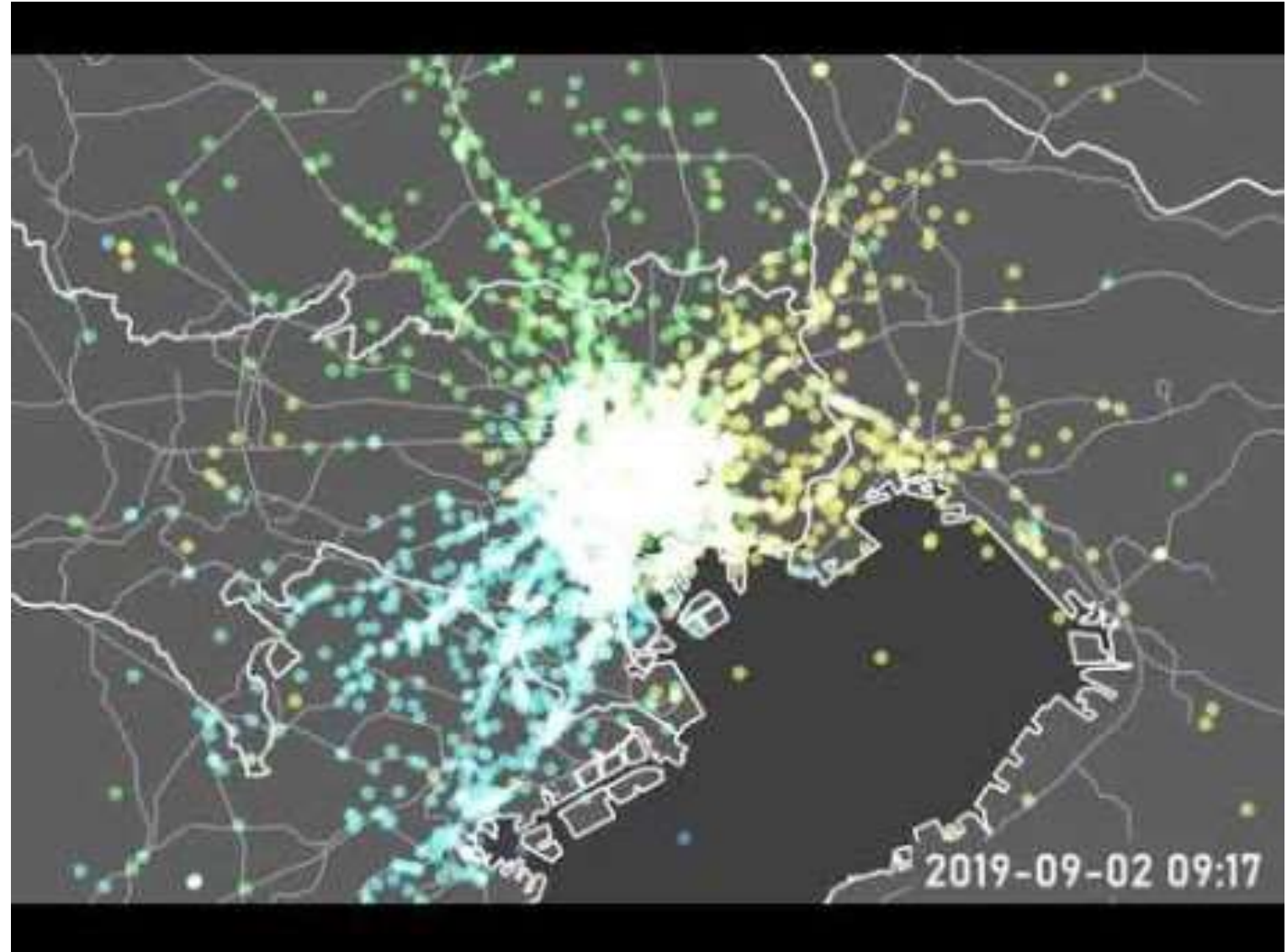


①日常生活

～通勤・通学～

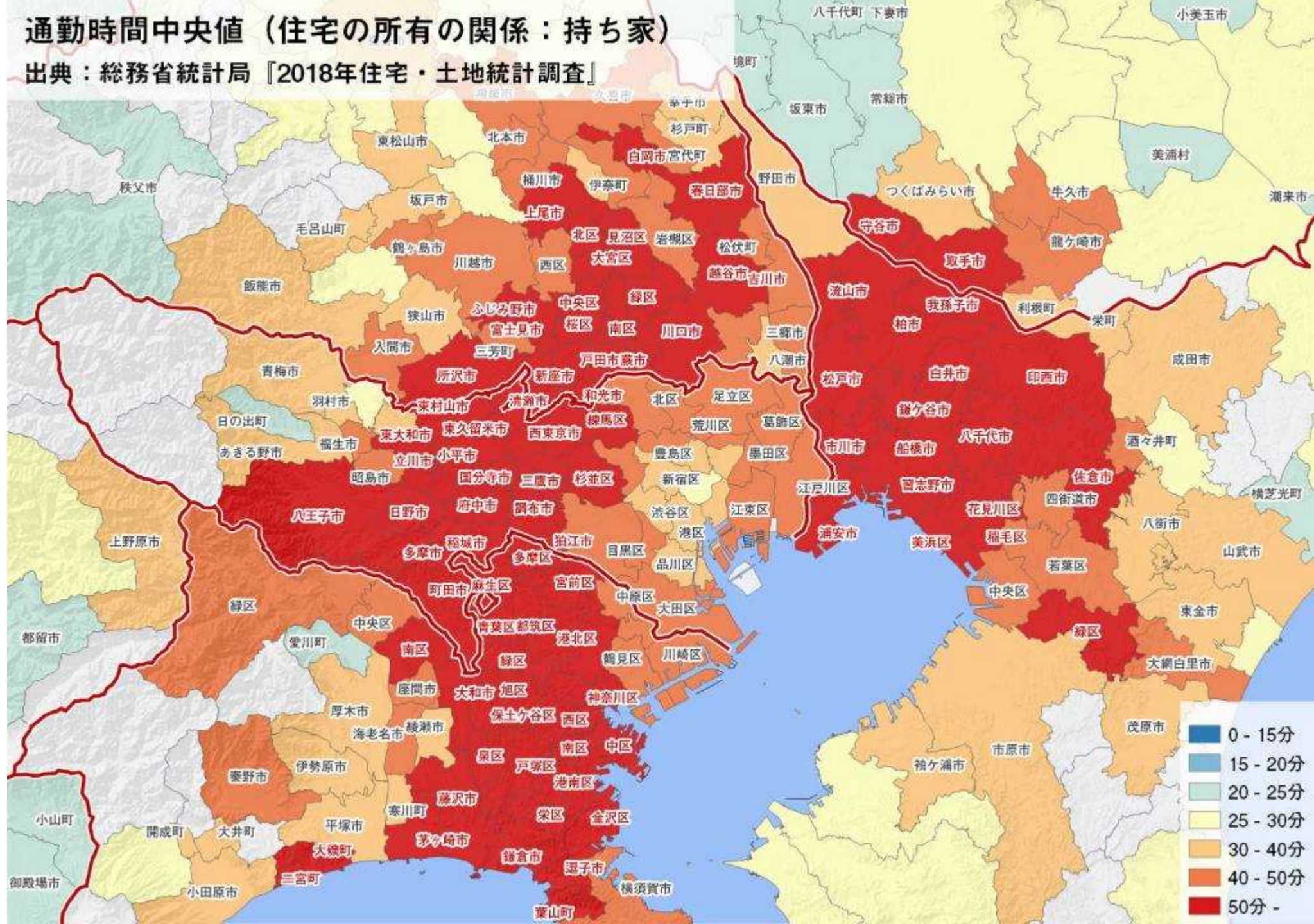
人流 ビッグデータ

- ・ 都心5区への通勤・通学者の動きを可視化した動画
 - ・ 出典：株式会社Agoop ポイント型流動人口データ
(第3回東京公共交通オープンデータチャレンジ)



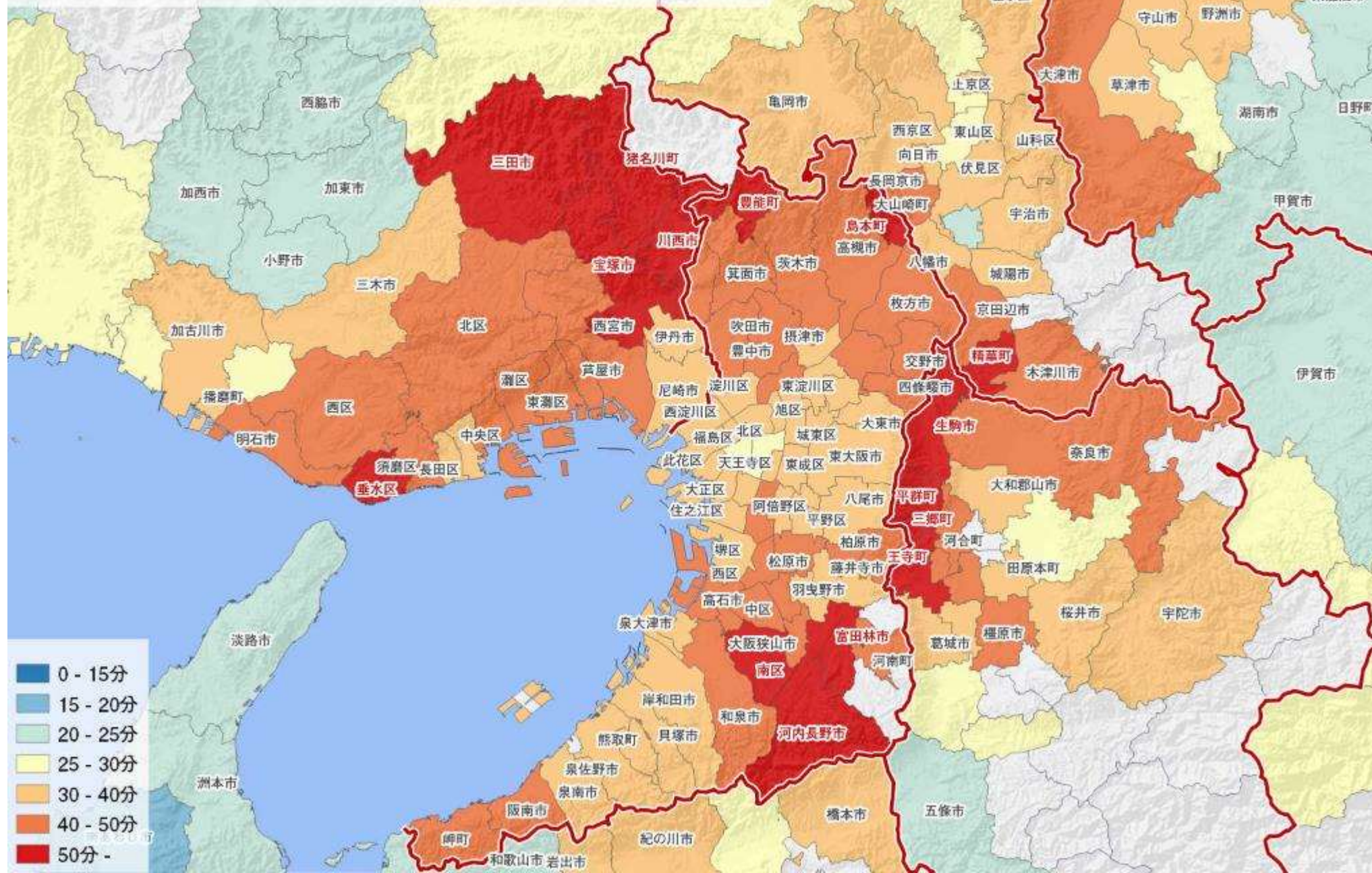
出典：総務省統計局『2018年住宅・土地統計調査』

出典：総務省統計局『2018年住宅・土地統計調査』



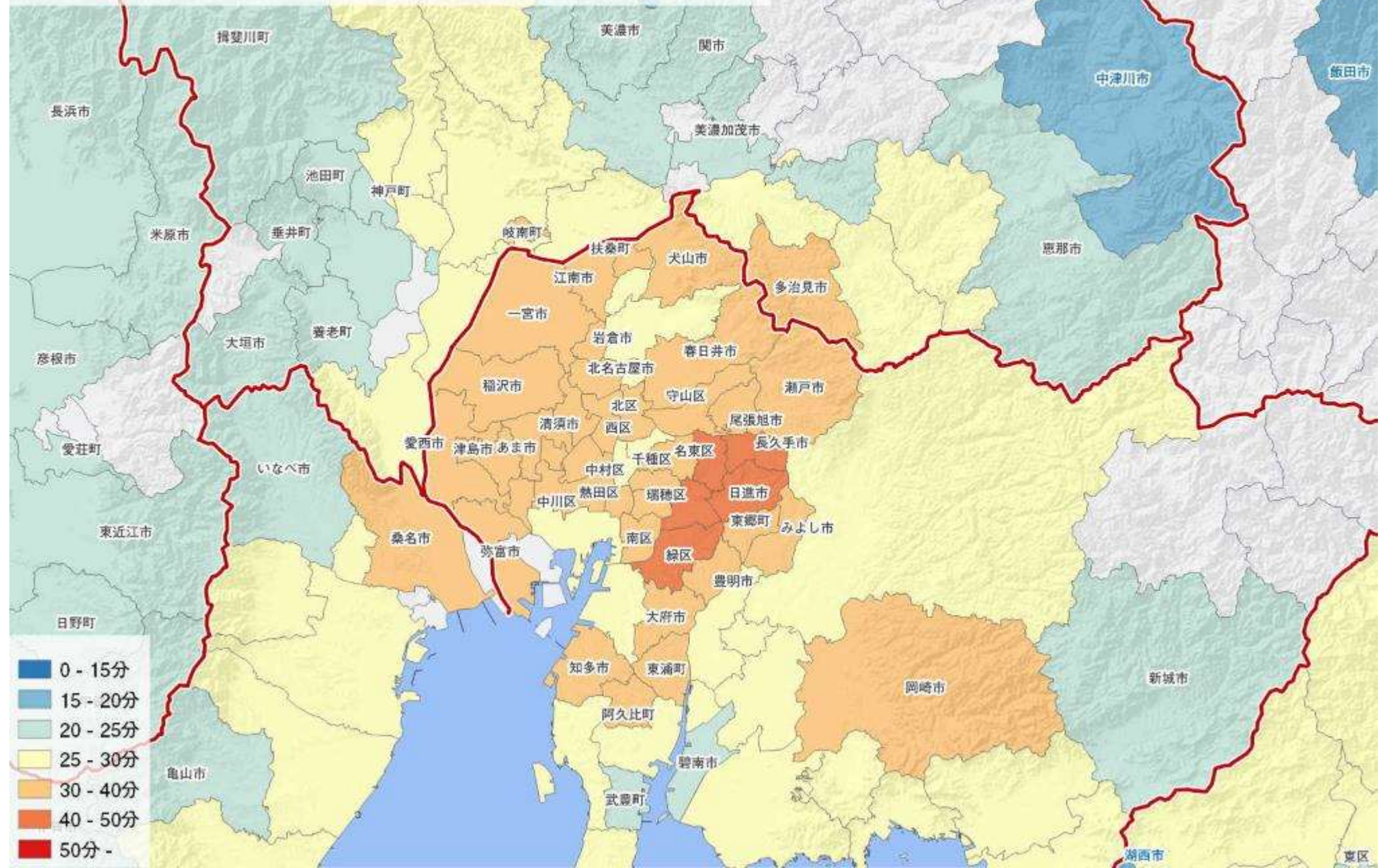
出典：総務省統計局『2018年住宅・土地統計調査』

出典：総務省統計局『2018年住宅・土地統計調査』



通勤時間中央値（住宅の所有の関係：持ち家）

出典：総務省統計局『2018年住宅・土地統計調査』



首都圏（金融保険業）



居住地（青）・勤務地（赤）を円弧で結んだ地図

出典：総務省統計局『2015年国勢調査』

首都圏 (情報通信業)

従業員が都心に集中。長距離通勤も多い。

従業員が都心に集中。長距離通勤も多い。

首都圏（製造業）



近畿圏（金融保険業）



近畿圏（情報通信業）



近畿圏（製造業）



中京圏（金融保険業）



中京圏（情報通信業）

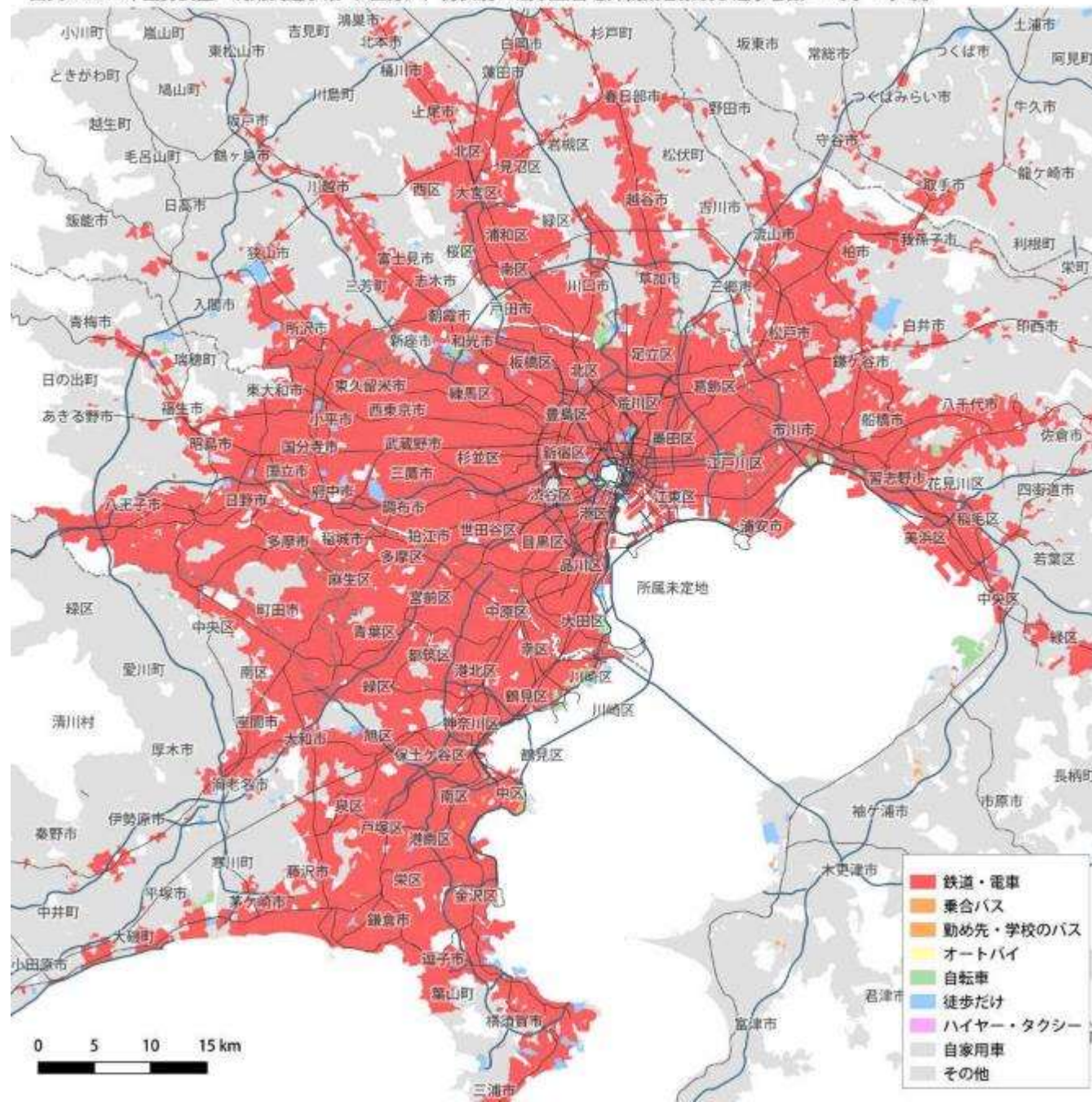


中京圏（製造業）



利用交通手段1位 - 男性・通勤（複数回答）

出典：2010年国勢調査「利用交通手段（9区分），男女別15歳以上自宅外就業者数及び通学者数 - 町丁・字等」



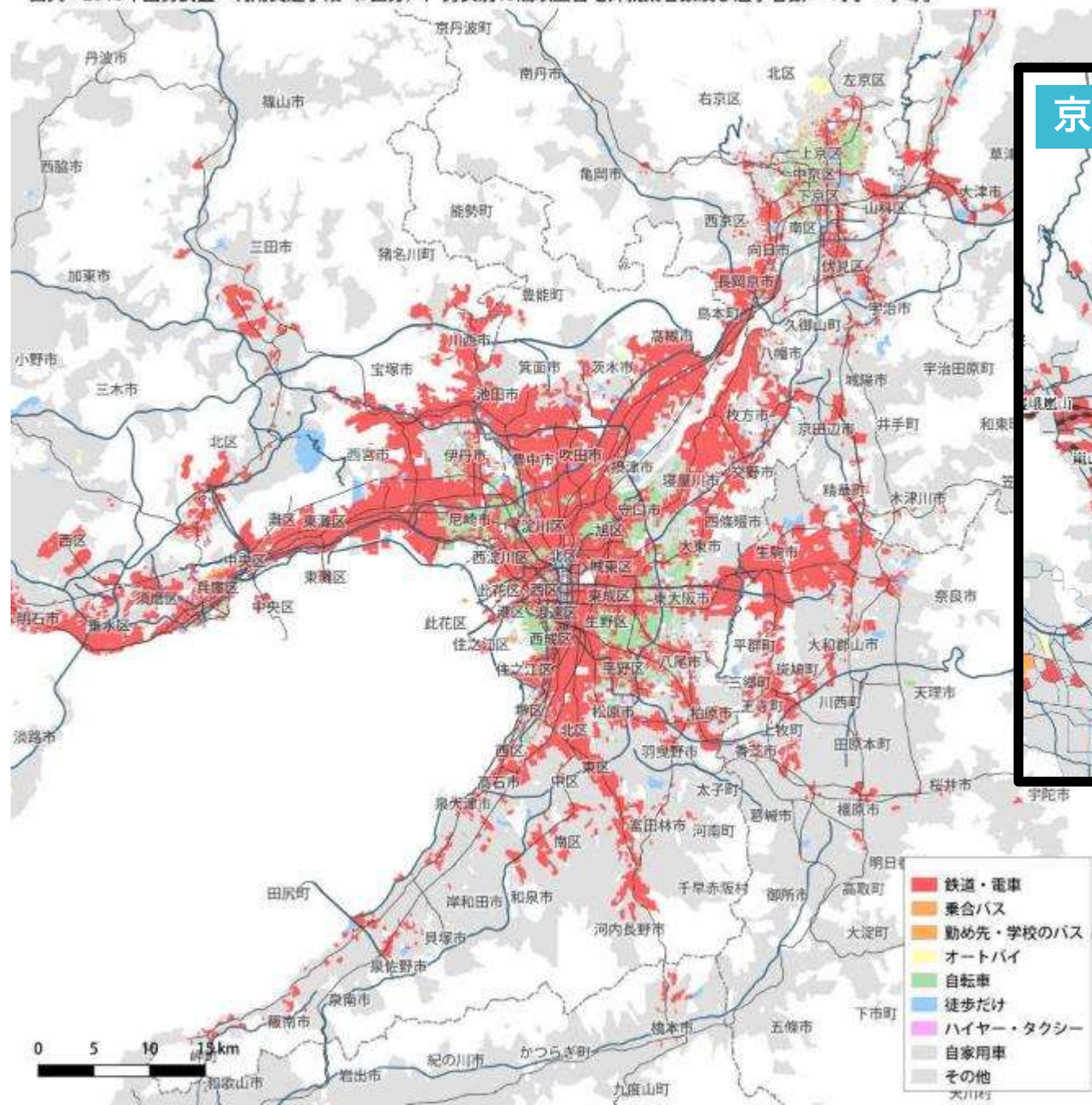
1. オープンデータで描く都市の姿

①日常生活

電車社会と
クルマ社会の
境目は？

利用交通手段1位 - 男性・通勤（複数回答）

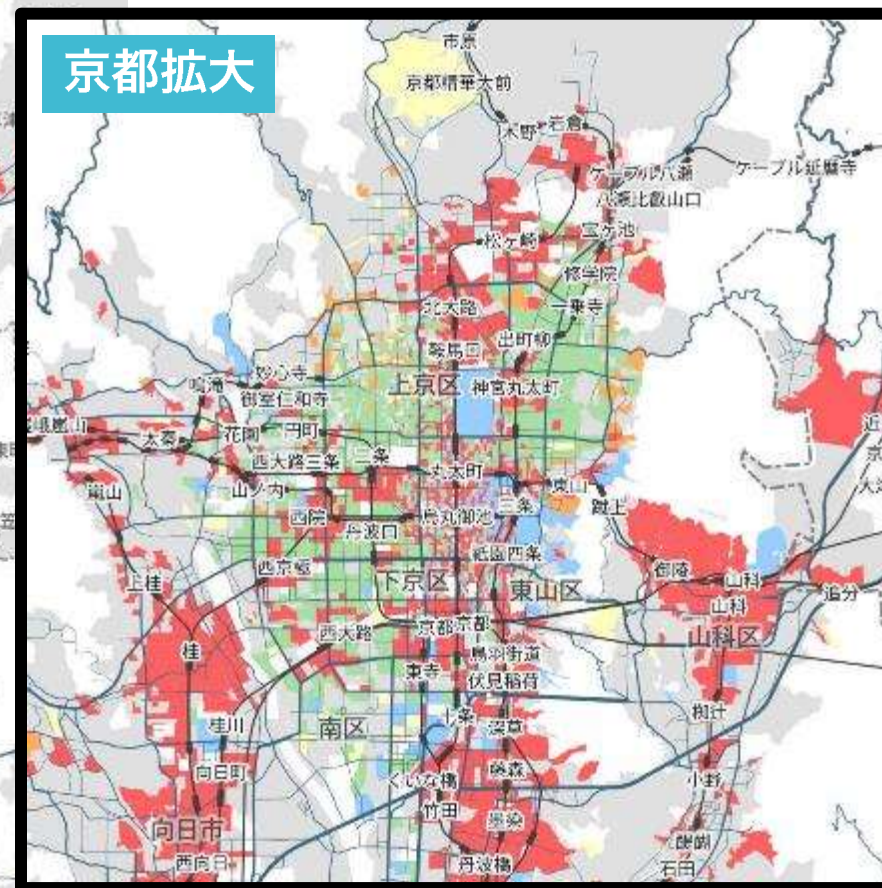
出典：2010年国勢調査「利用交通手段（9区分），男女別15歳以上自宅外就業者数及び通学者数 - 町丁・字等」



1. オープンデータで描く都市の姿

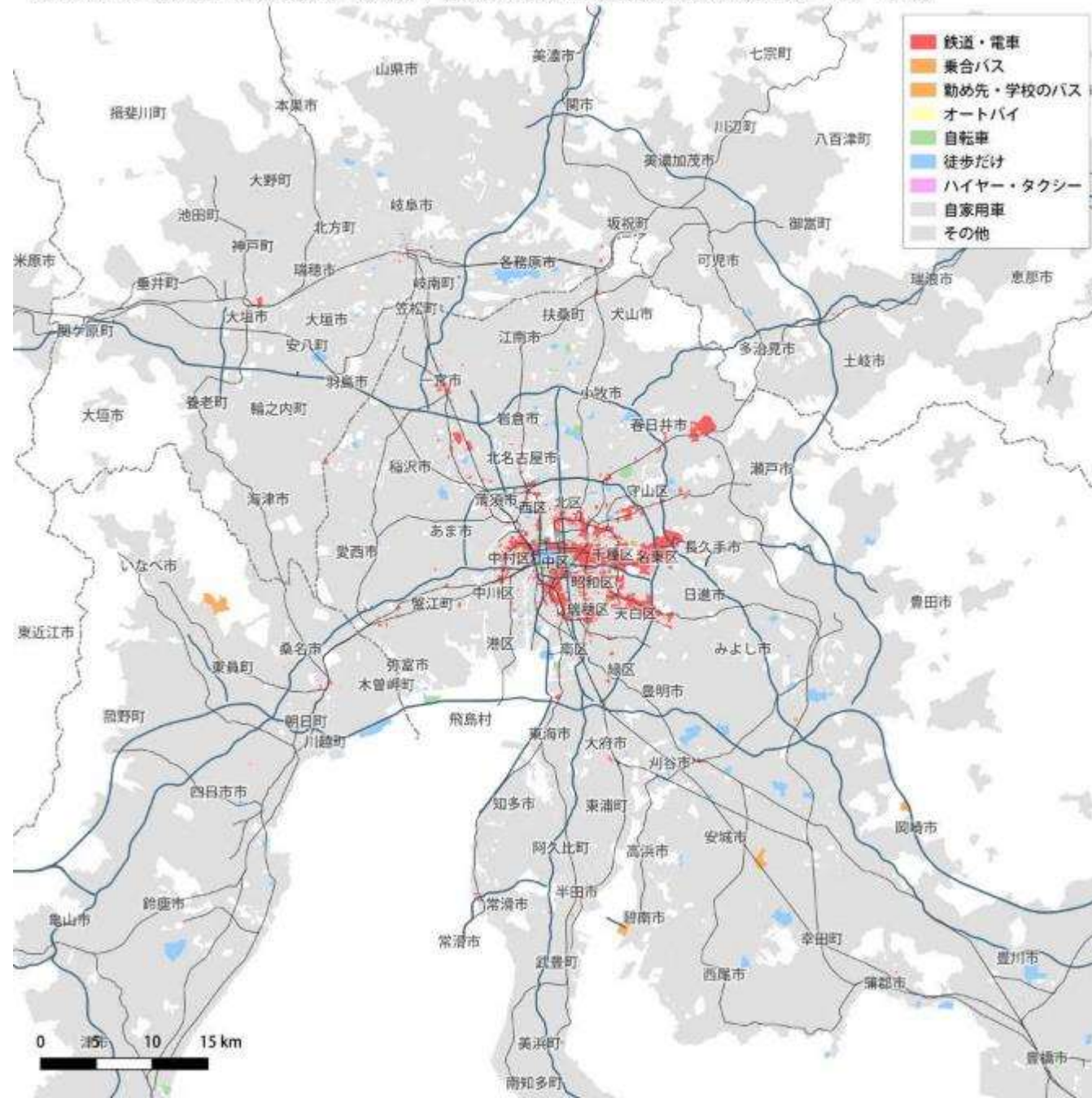
①日常生活

京都拡大



利用交通手段1位 - 男性・通勤（複数回答）

出典：2010年国勢調査「利用交通手段（9区分），男女別15歳以上自宅外就業者数及び通学者数 - 町丁・字等」



1. オープンデータで描く都市の姿

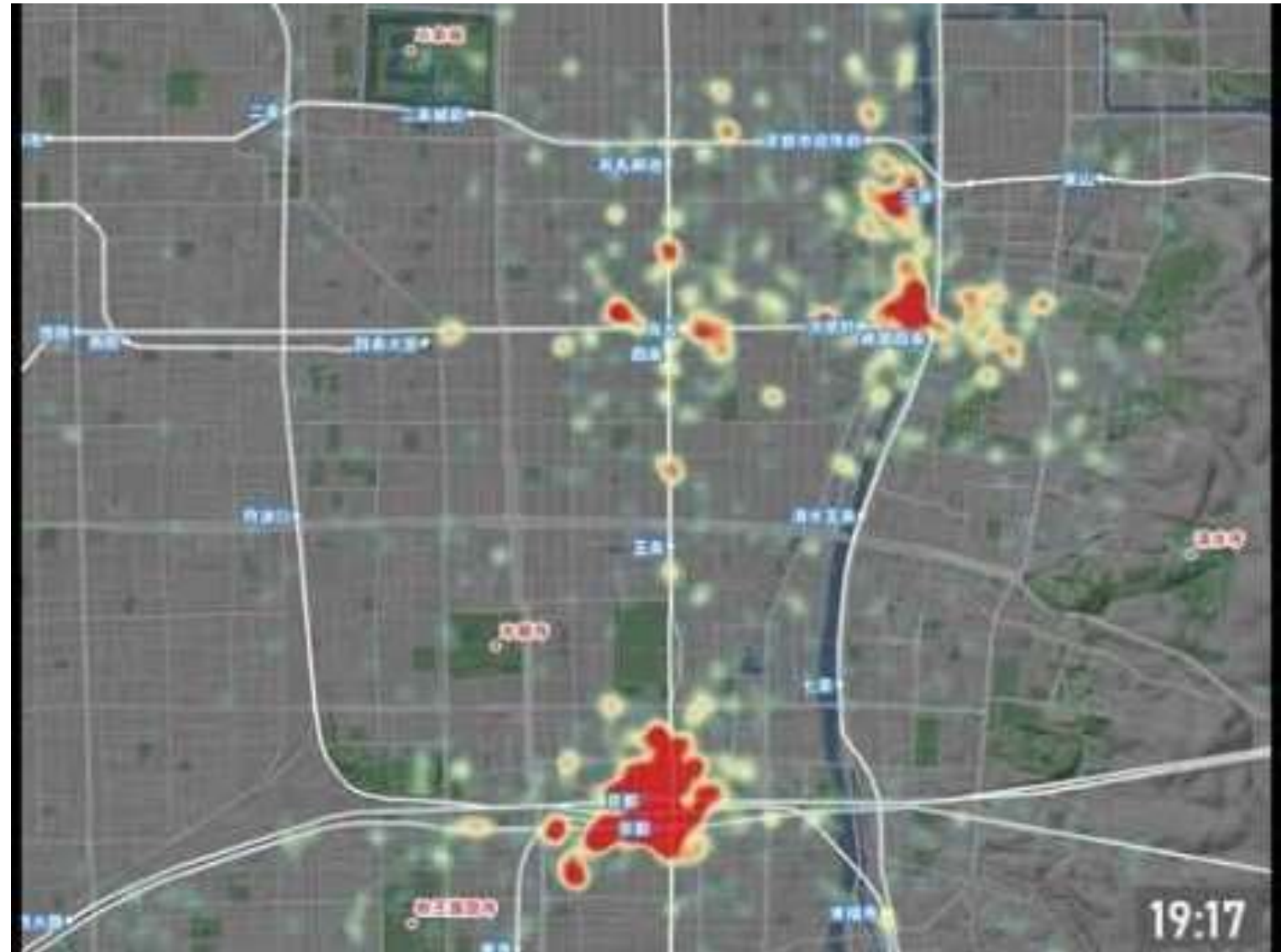
①日常生活

②非・日常生活

～旅行・観光～

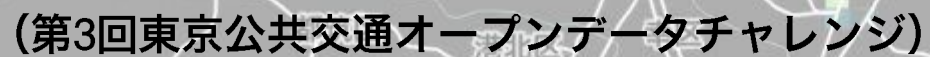
人流 ビッグデータ

- 2018～19年の土日・祝日、京都市街地の”東京都在住者”の分布を表現したヒートマップ
 - 出典：株式会社Agoop ポイント型流動人口データ
(第3回東京公共交通オープンデータチャレンジ)



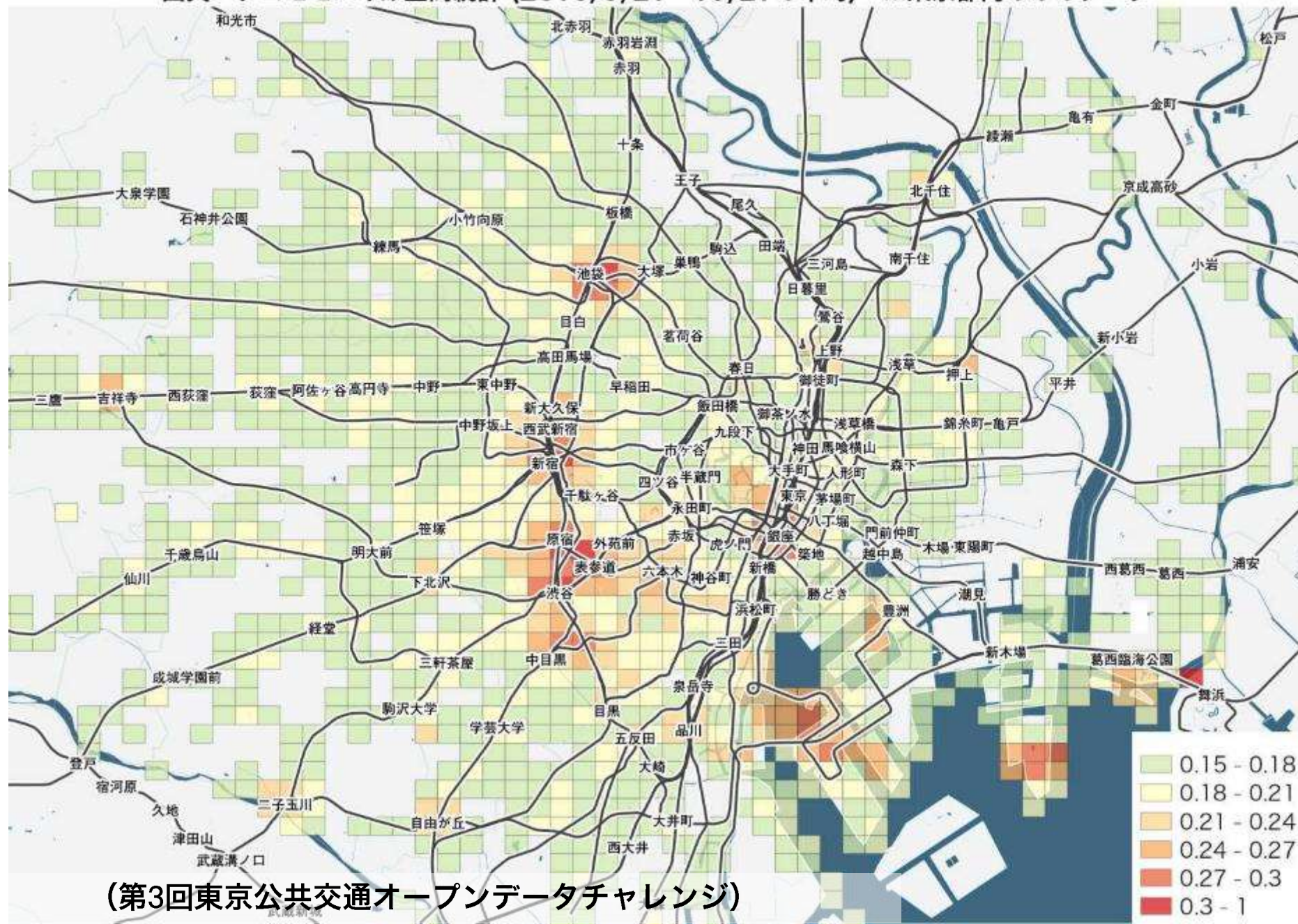
出典：ドコモモバイル空間統計 (2019/9/24～10/7の平均)

出典：ドコモモバイル空間統計 (2019/9/24～10/7の平均)



15～79歳に占める20代・30代の女性の比率 - 休日14時

出典：ドコモモバイル空間統計 (2019/9/21～10/27の平均) ※東京都内のみのデータ



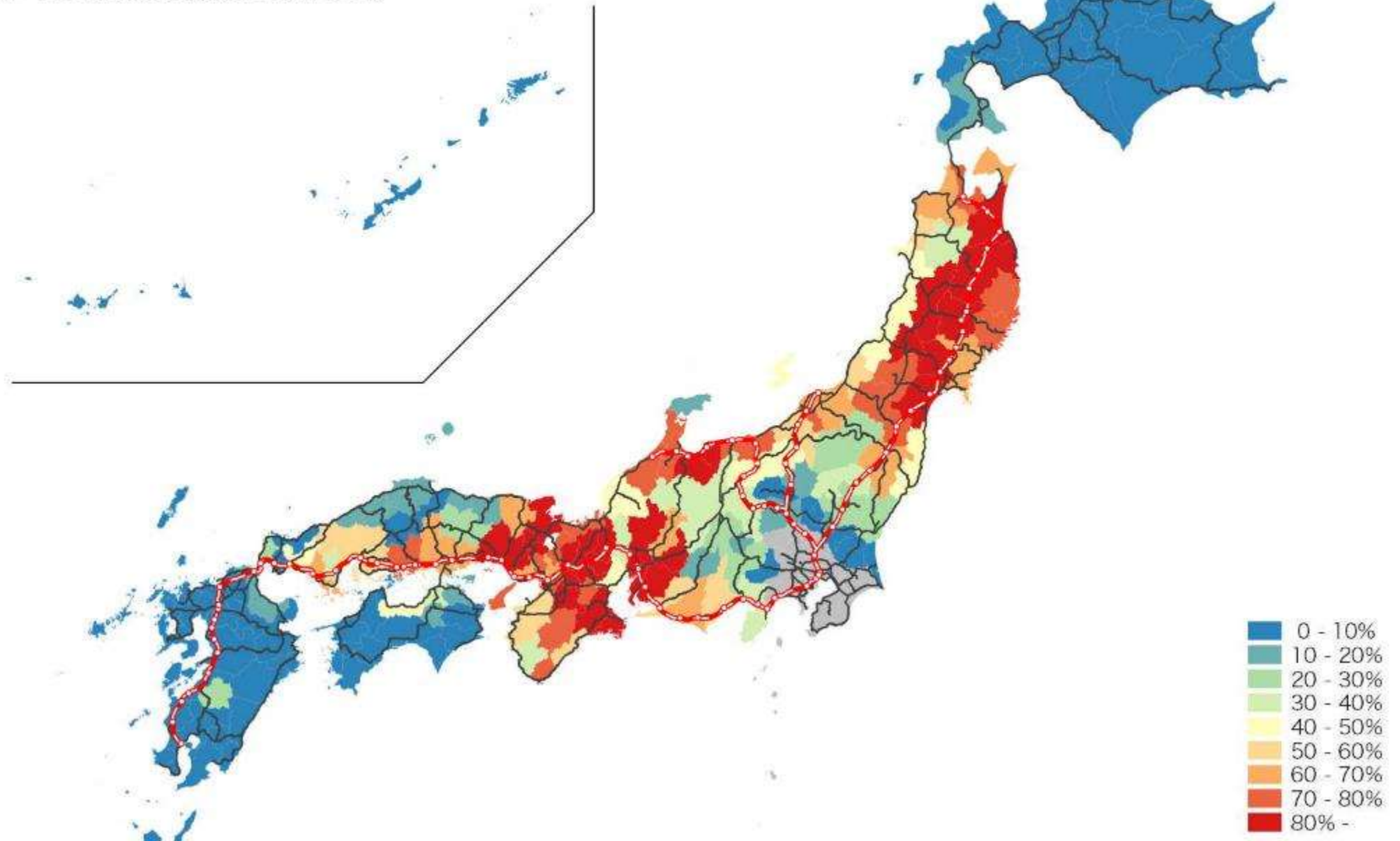
(第3回東京公共交通オープンデータチャレンジ)

旅行先別の鉄道シェア

居住地：東京23区

出典：全国幹線旅客純流動調査（2015年）

※一部の離島は集計対象に含まれない。



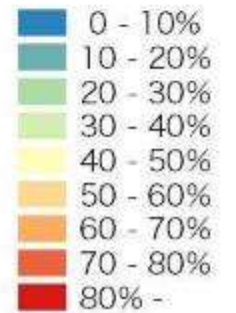
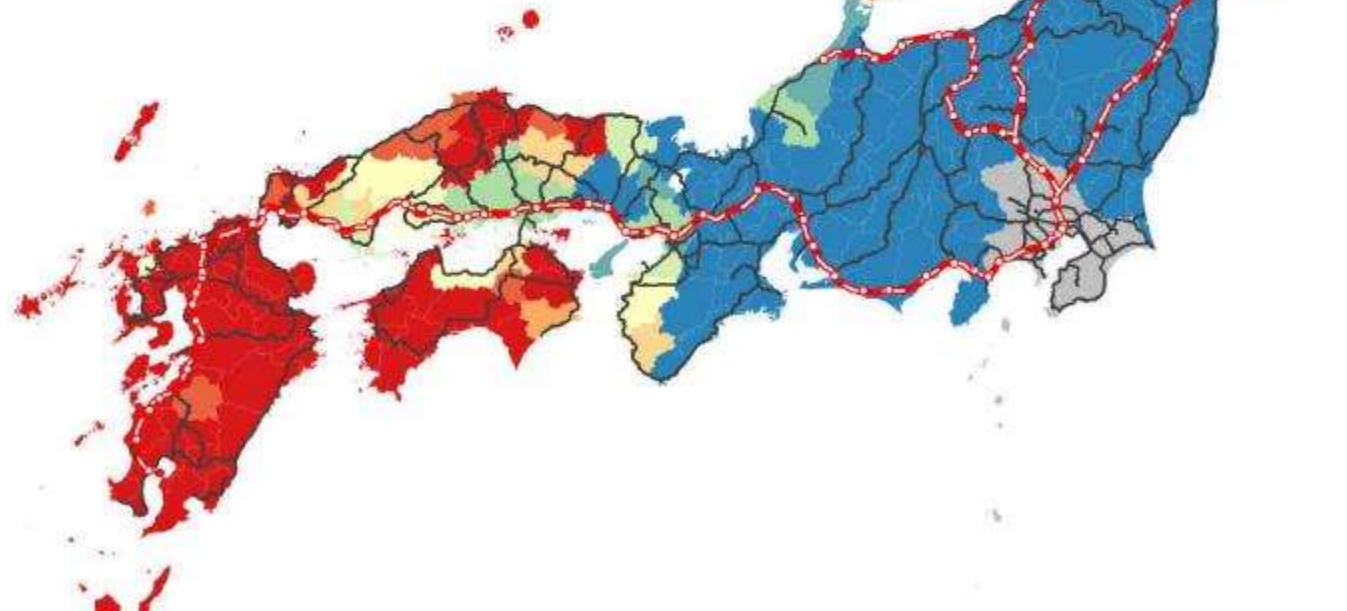
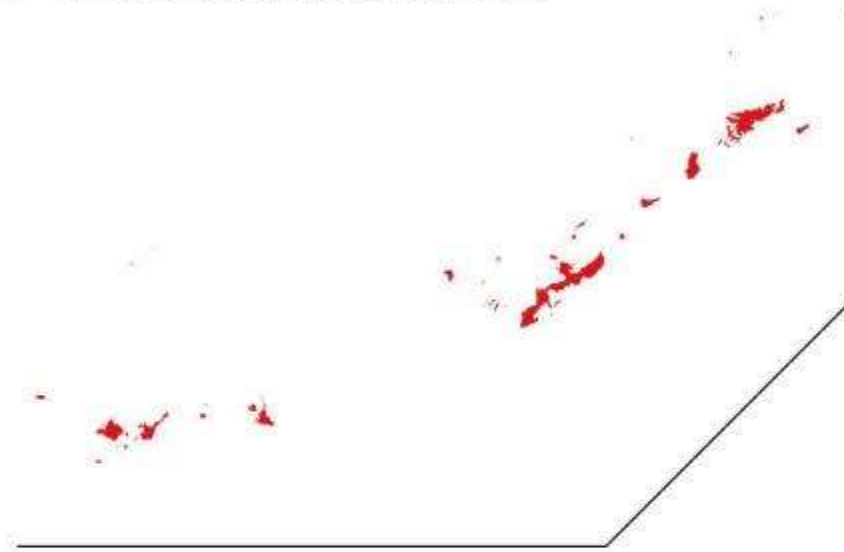
1. オープンデータで描く都市の姿
②非・日常生活

旅行先別の航空シェア

居住地：東京23区

出典：全国幹線旅客純流動調査（2015年）

※一部の離島は集計対象に含まれない。



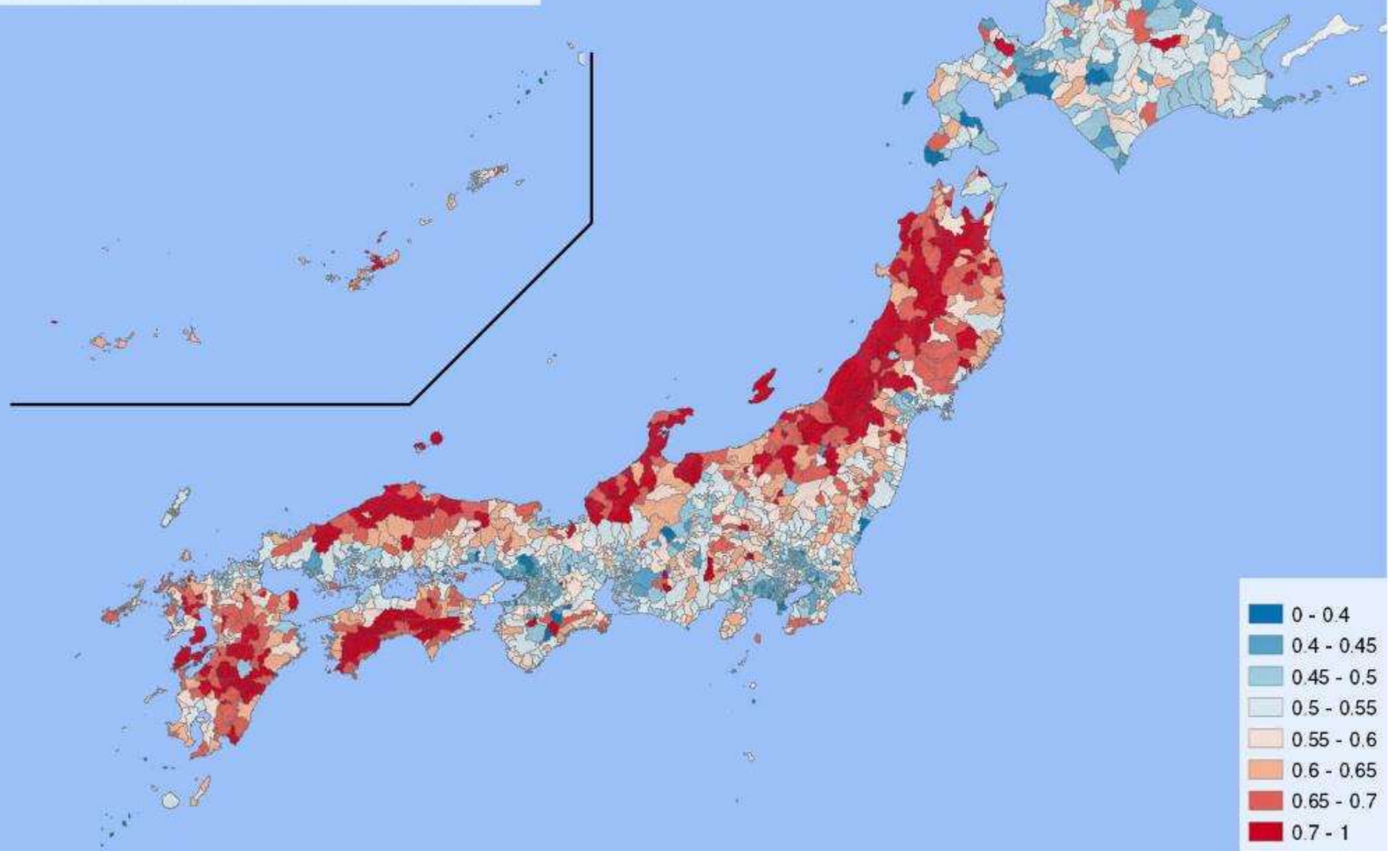
③ライフステージ

～家族類型～

6歳未満の居住世帯における

共働き家庭の割合

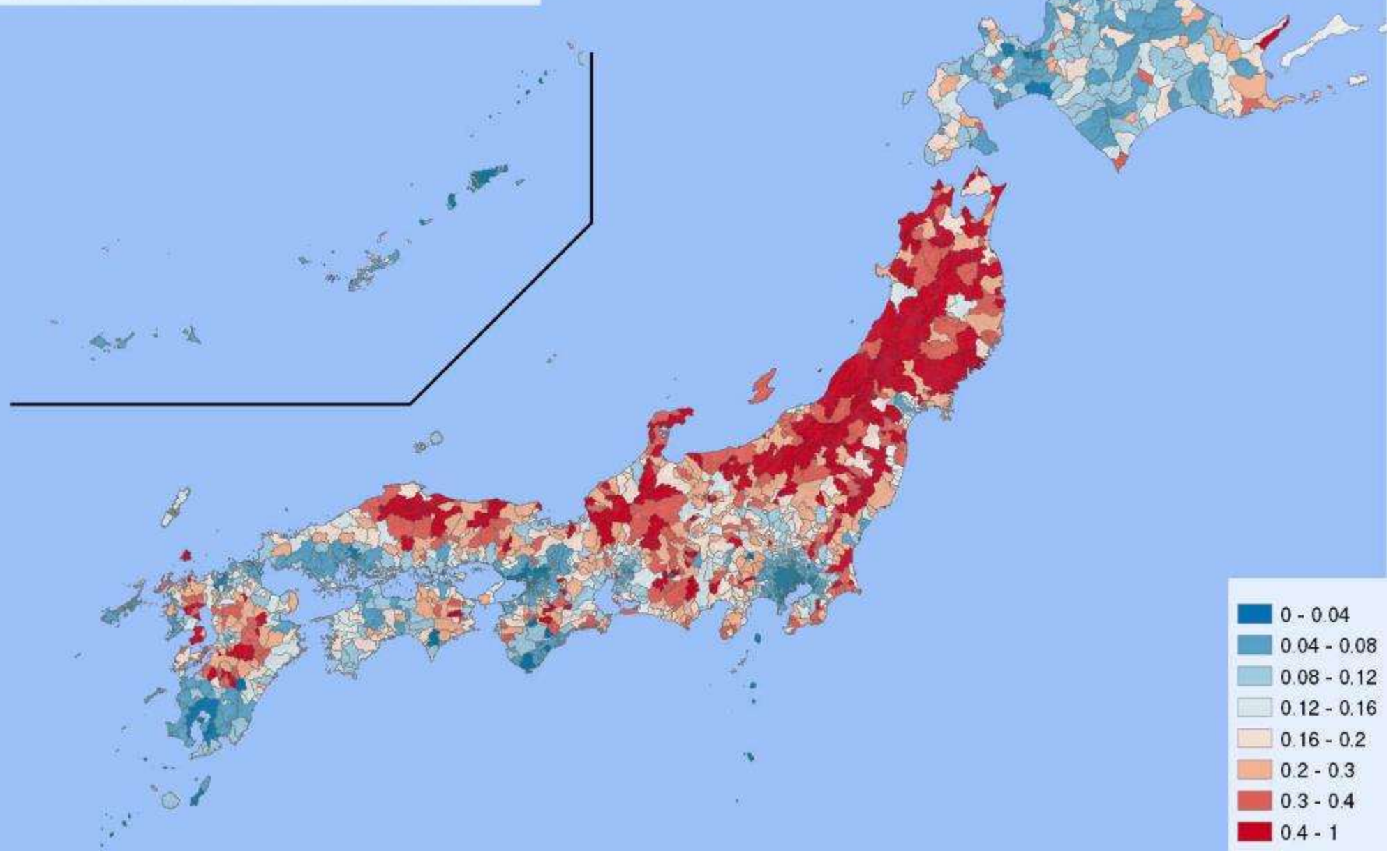
出典：総務省統計局「2015年国勢調査」



6歳未満の居住世帯における

親との同居世帯の割合

出典：総務省統計局「2015年国勢調査」

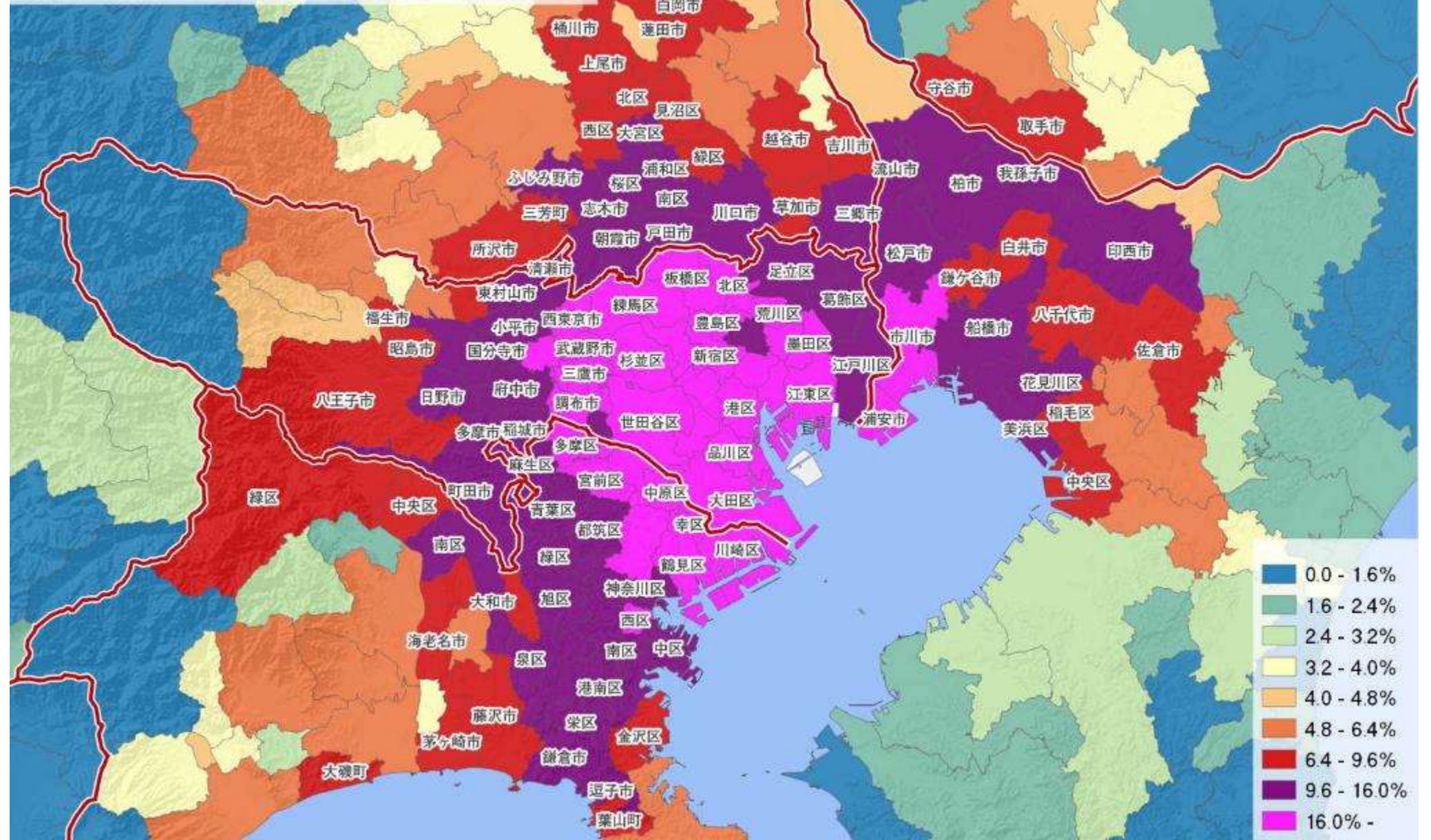


③ライフステージ

～産業・職業～

当地に住む25~34歳男性に占める 情報通信業従業者の割合

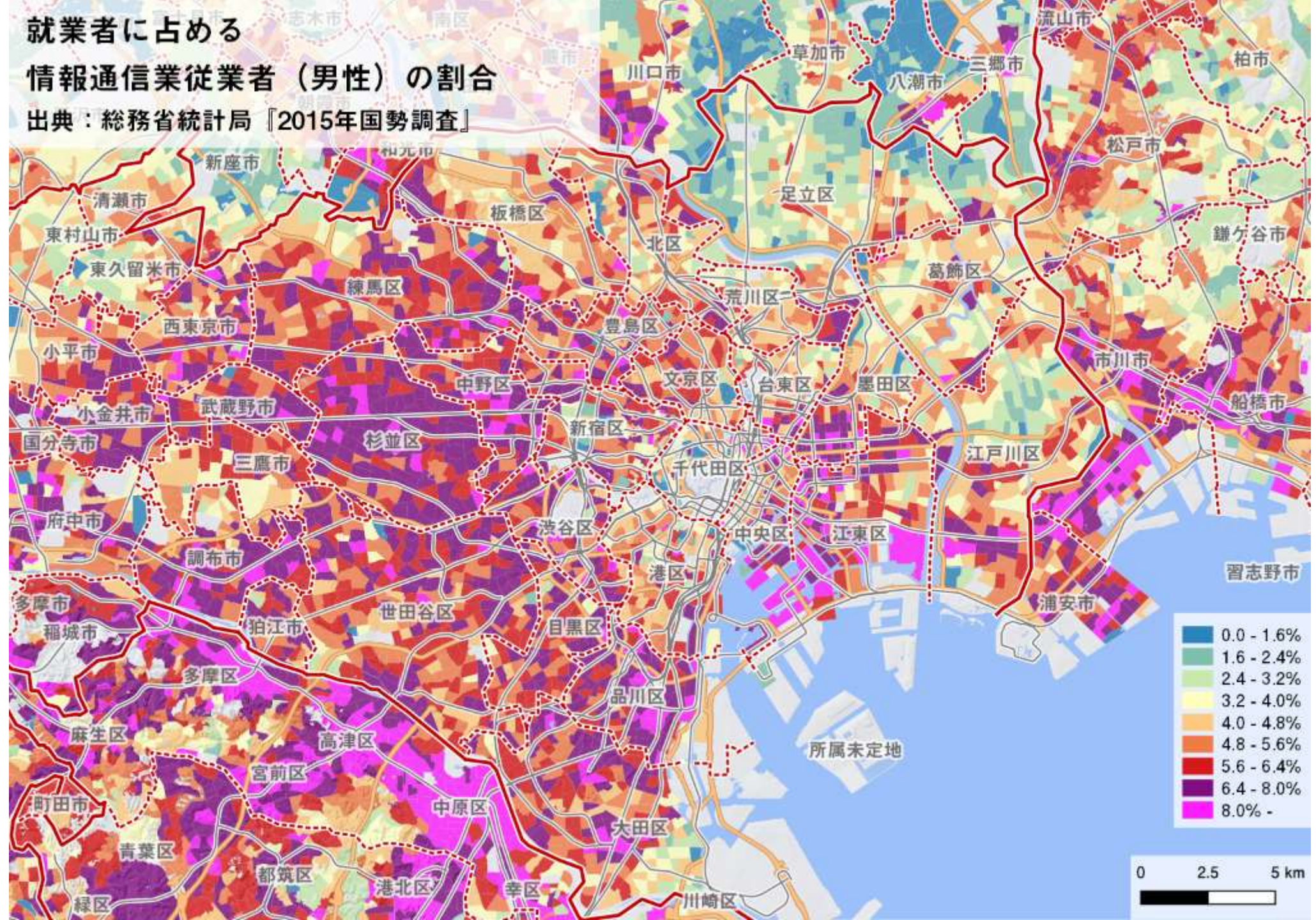
出典：総務省統計局「2015年国勢調査」



就業者に占める

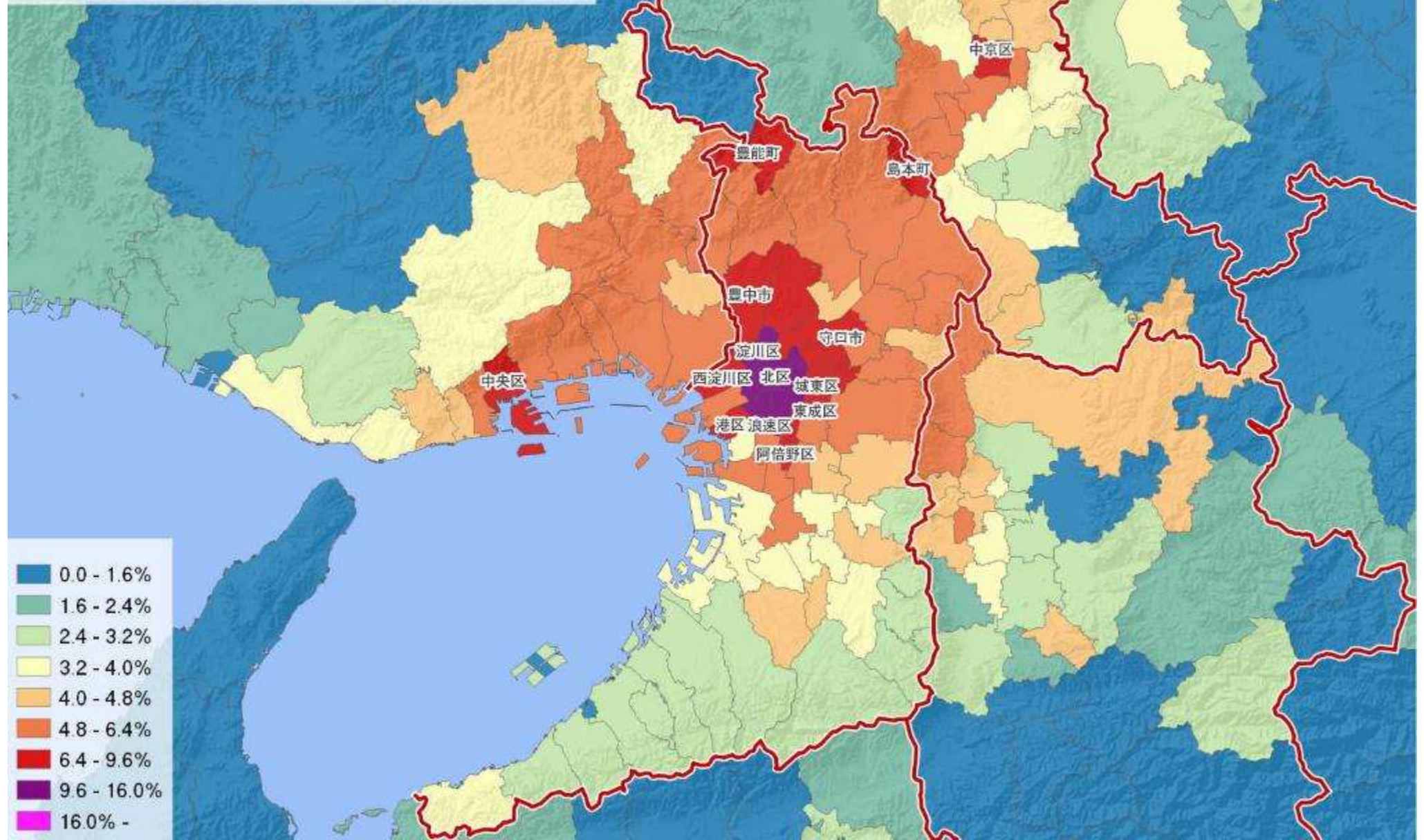
情報通信業従業者（男性）の割合

出典：総務省統計局『2015年国勢調査』



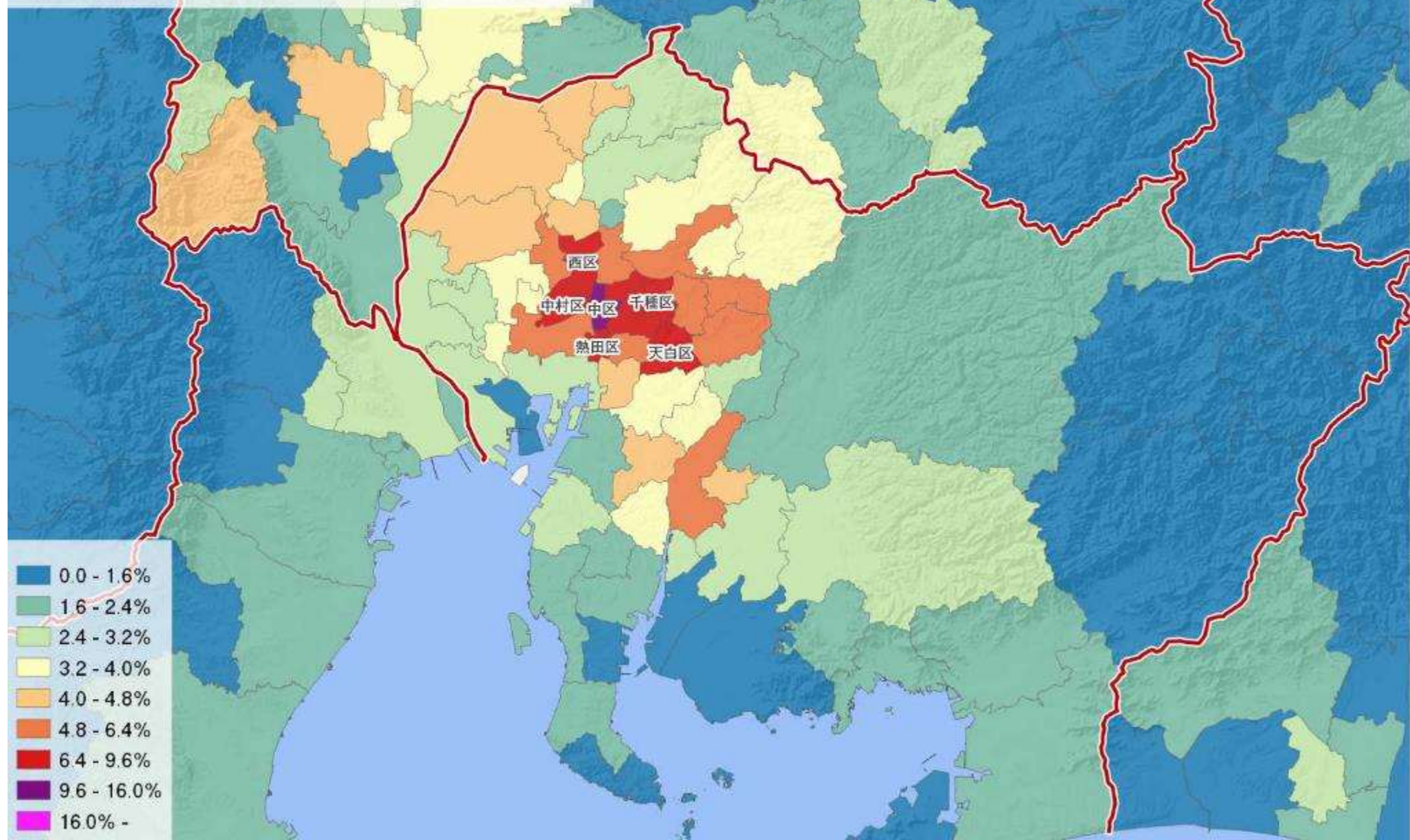
当地に住む25~34歳男性に占める
情報通信業従業者の割合

出典：総務省統計局「2015年国勢調査」



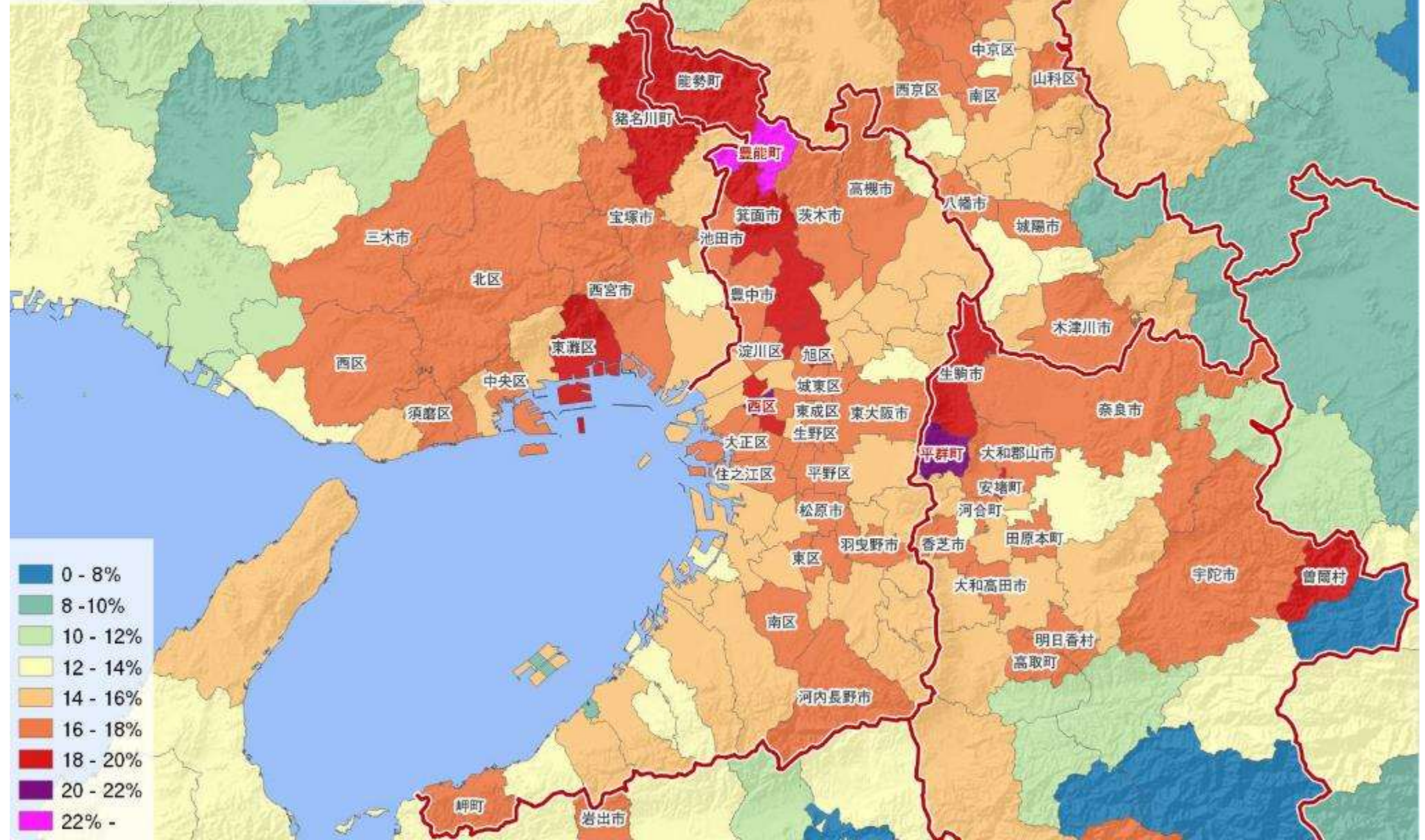
当地に住む25~34歳男性に占める
情報通信業従業者の割合

出典：総務省統計局「2015年国勢調査」



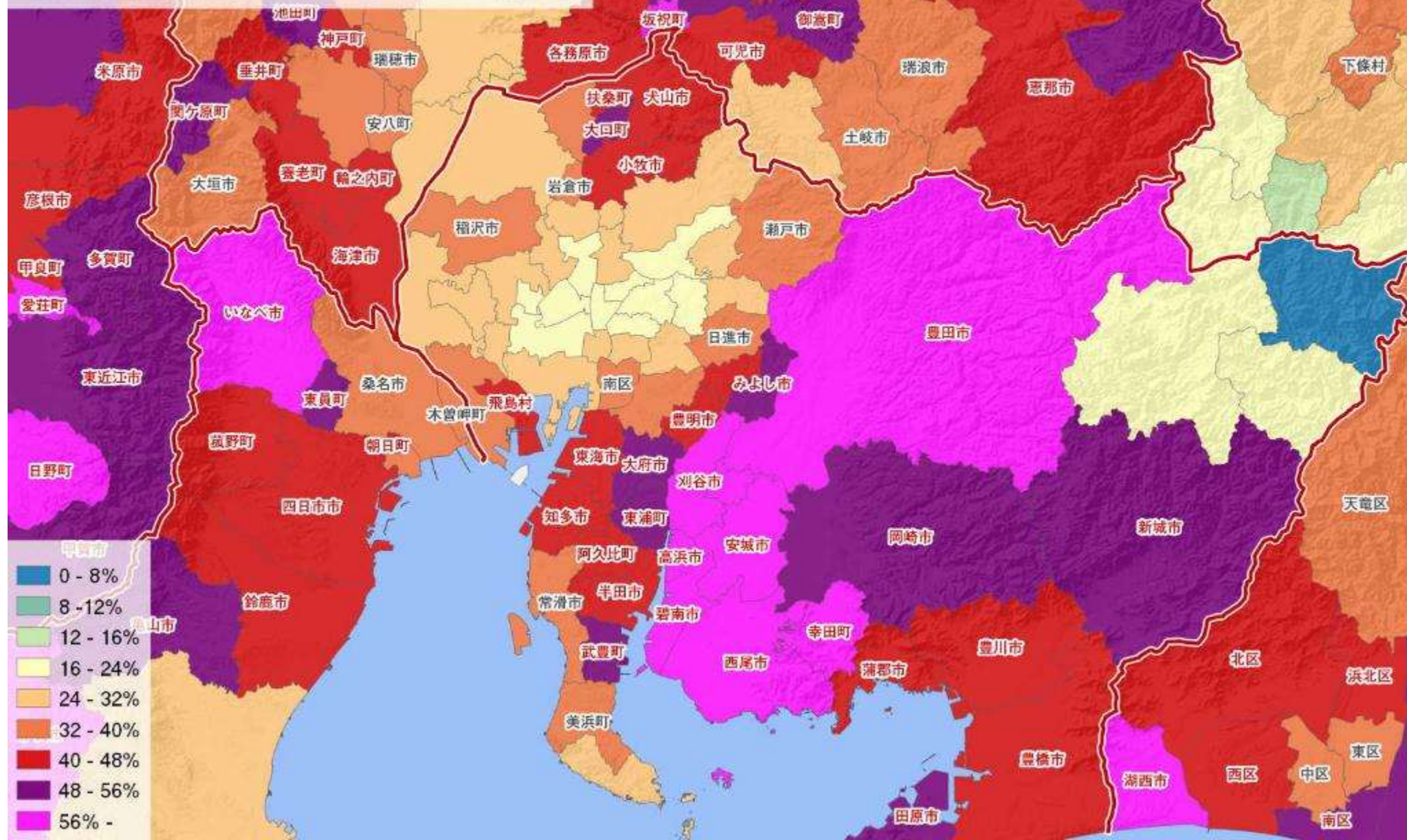
当地に住む25~34歳男性に占める
卸売・小売業従業者の割合

出典：総務省統計局「2015年国勢調査」



出典：総務省統計局「2015年国勢調査」

出典：総務省統計局「2015年国勢調査」



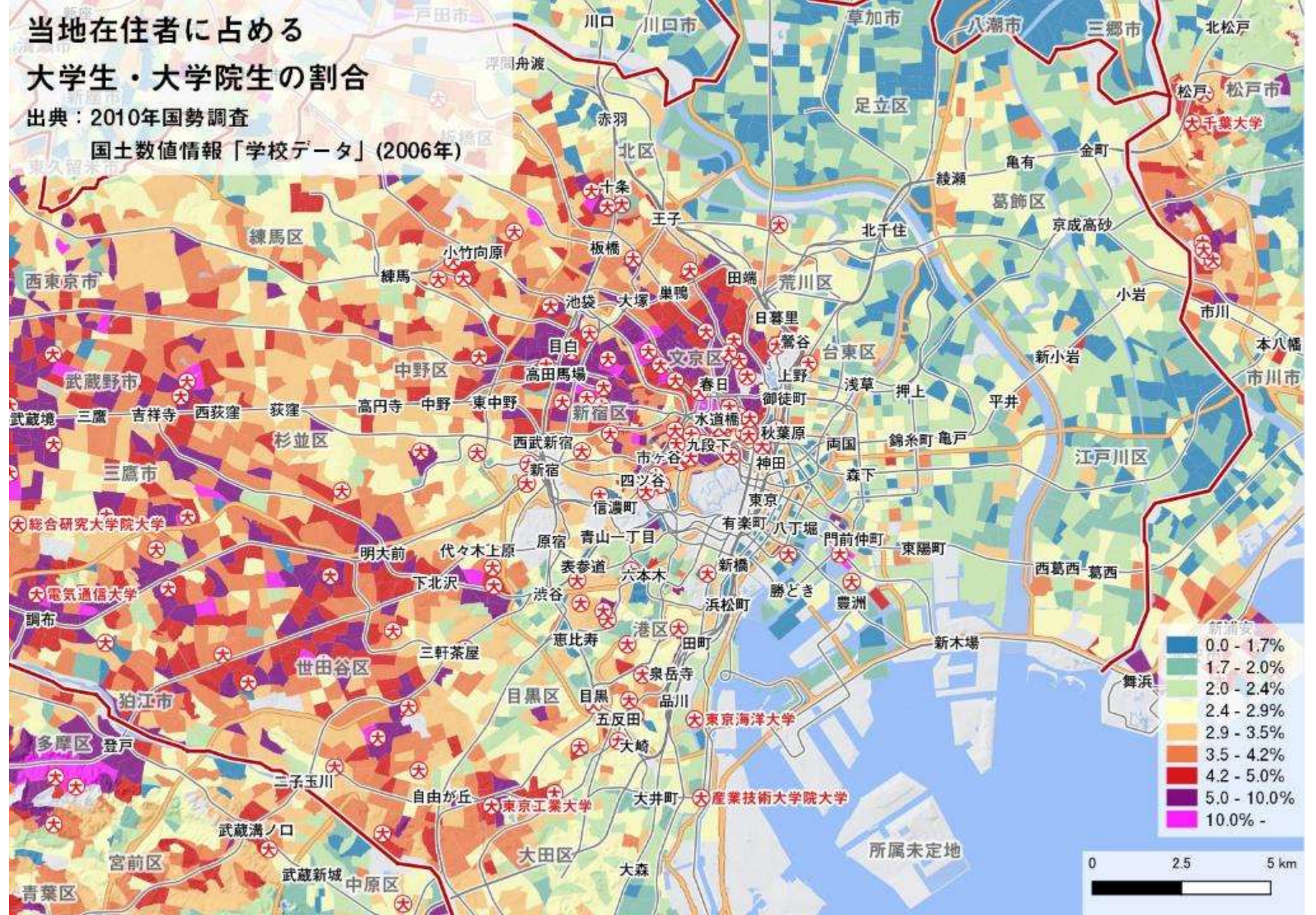
③ライフステージ

～在学状況～

当地在住者に占める 大学生・大学院生の割合

出典：2010年国勢調査

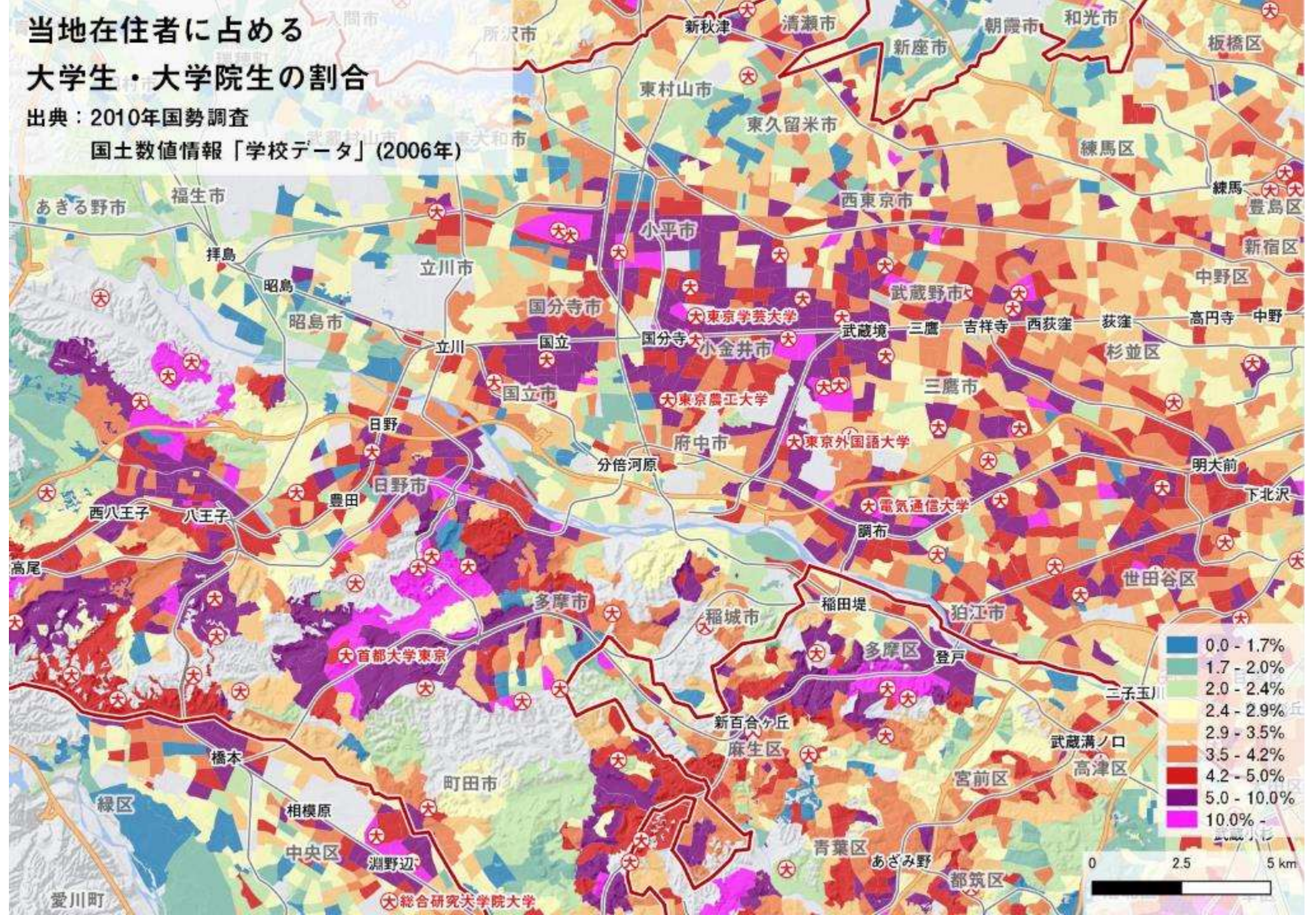
国土数値情報「学校データ」(2006年)



当地在住者に占める 大学生・大学院生の割合

出典：2010年国勢調査

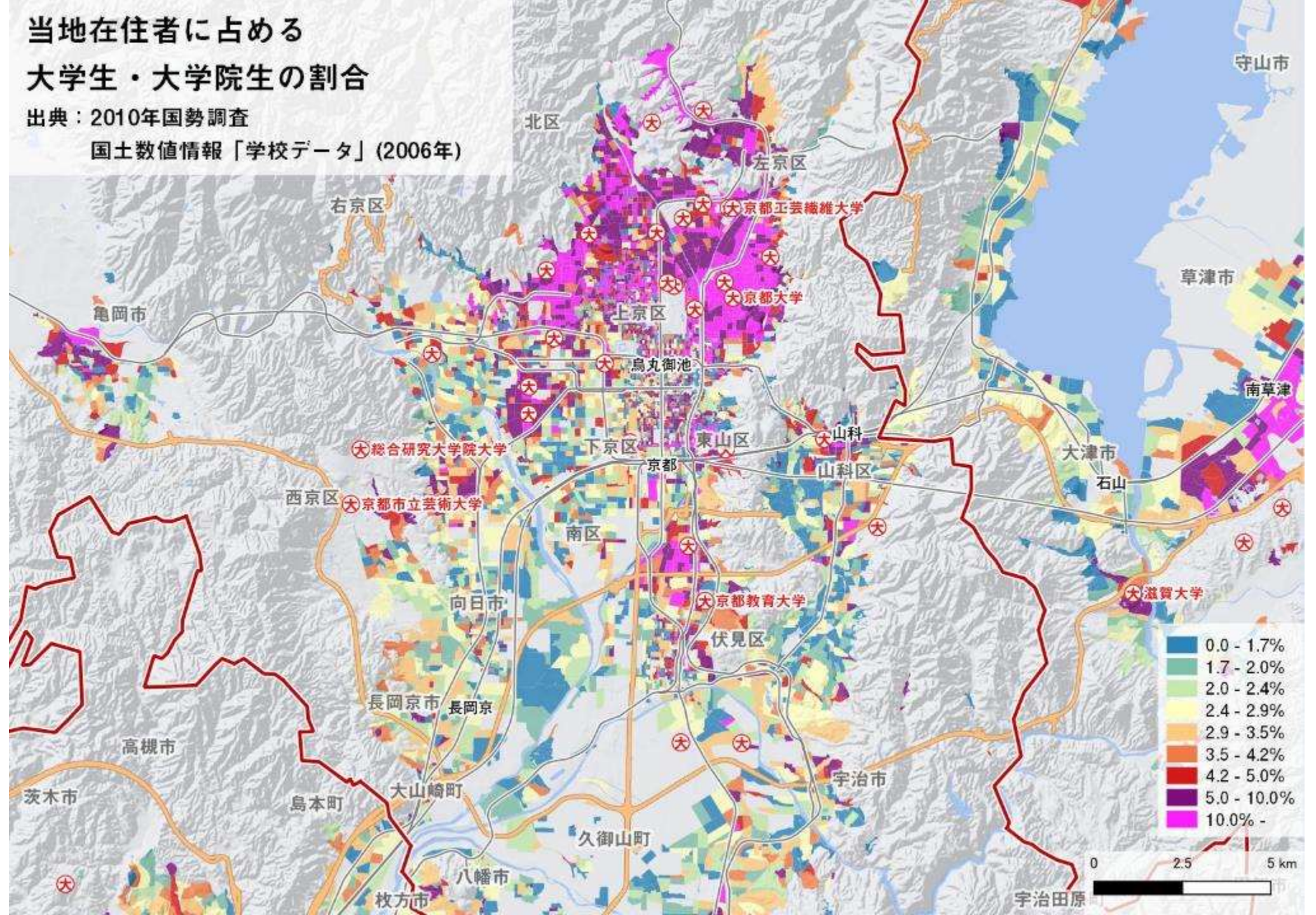
国土数値情報「学校データ」(2006年)



当地在住者に占める 大学生・大学院生の割合

出典：2010年国勢調査

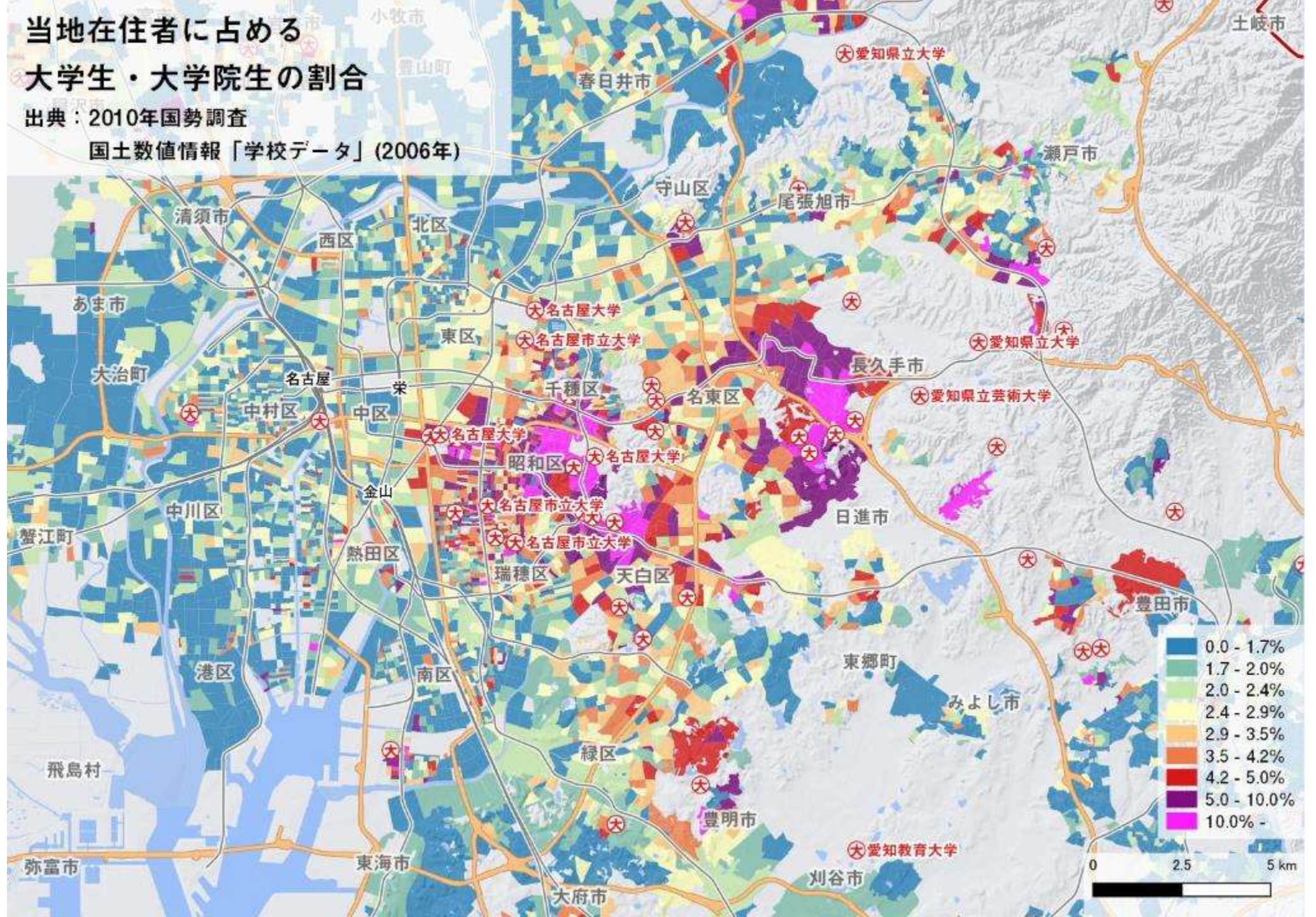
国土数値情報「学校データ」(2006年)



当地在住者に占める 大学生・大学院生の割合

出典：2010年国勢調査

国土数値情報「学校データ」(2006年)

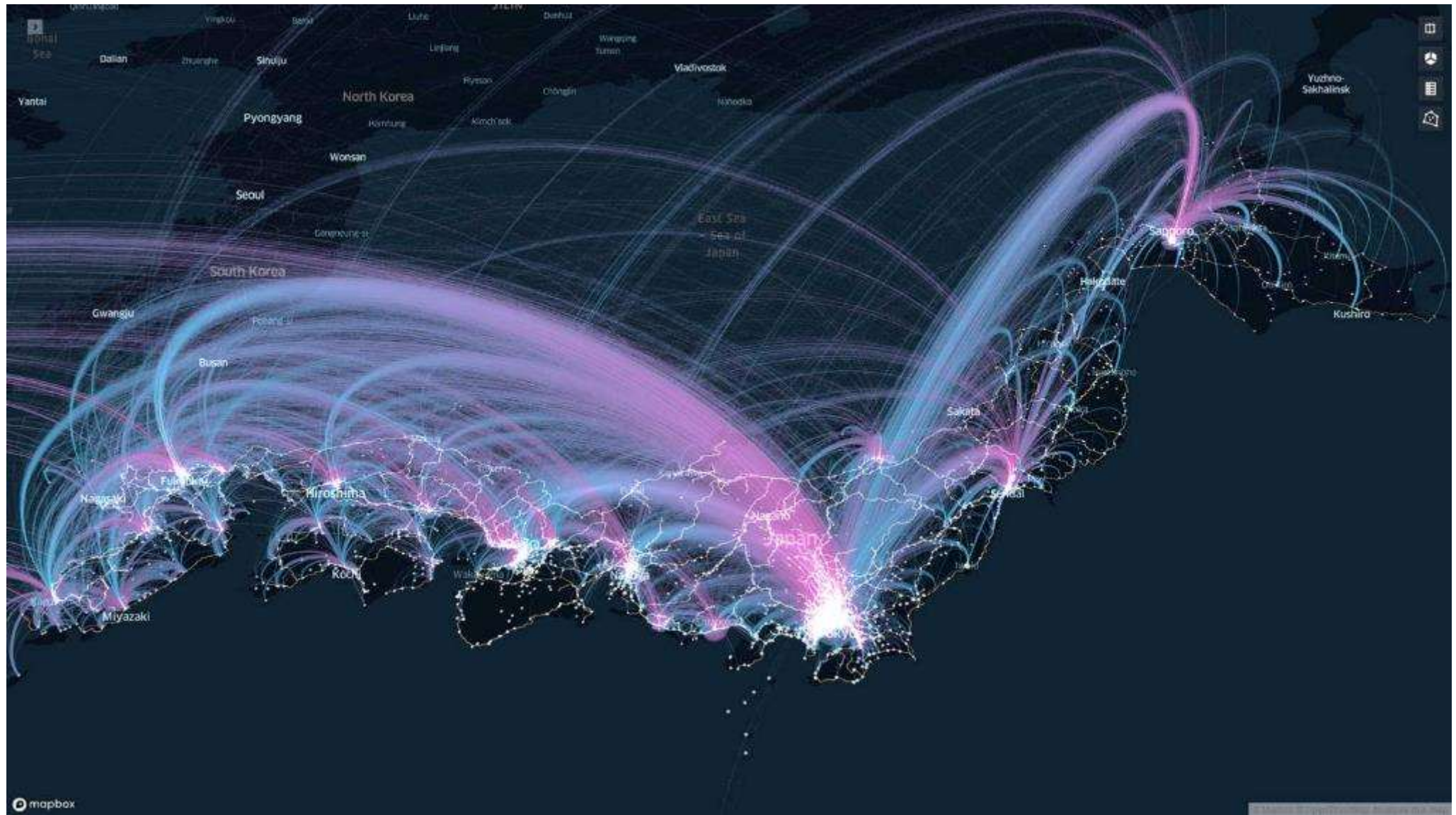


③ライフステージ

～人口動態～

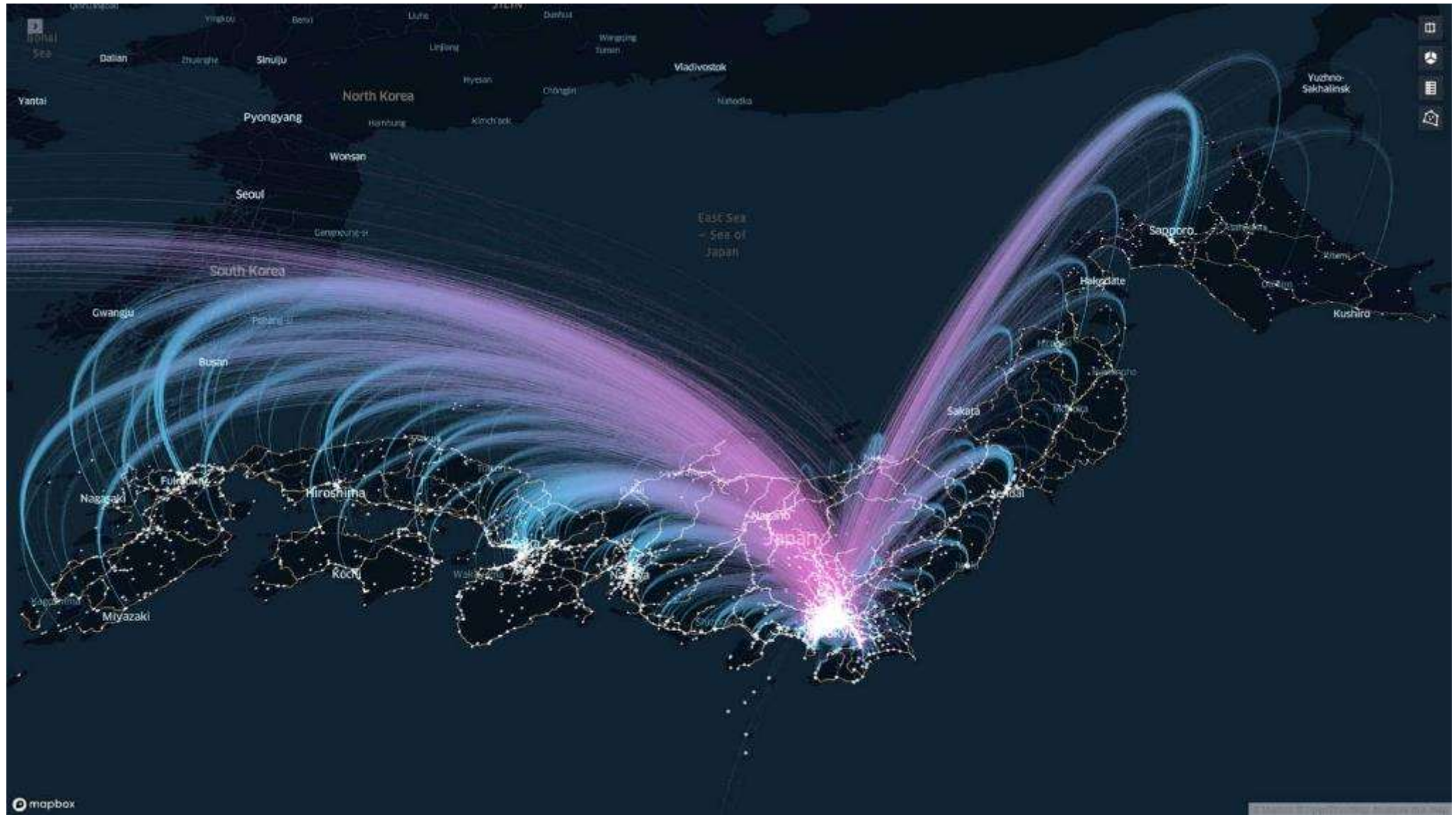
- 2010年→2015年の転出者の流れ

- 出典：総務省統計局「2015年国勢調査」 dataviz： kepler.gl



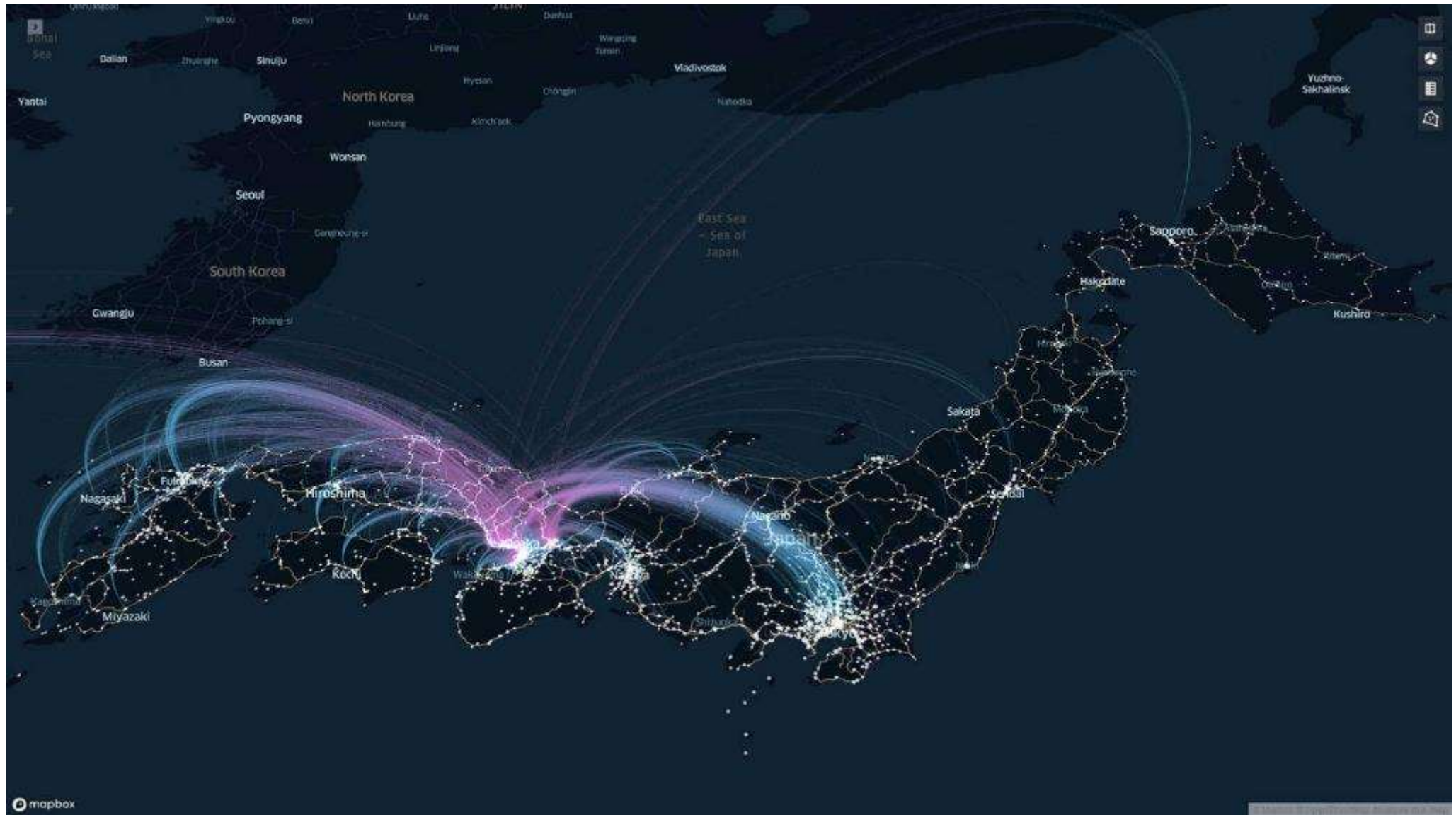
- ・ 関東1都6県への転出者の流れ

- ・ 出典：総務省統計局「2015年国勢調査」 dataviz：kepler.gl



- 近畿2府1県への転出者の流れ

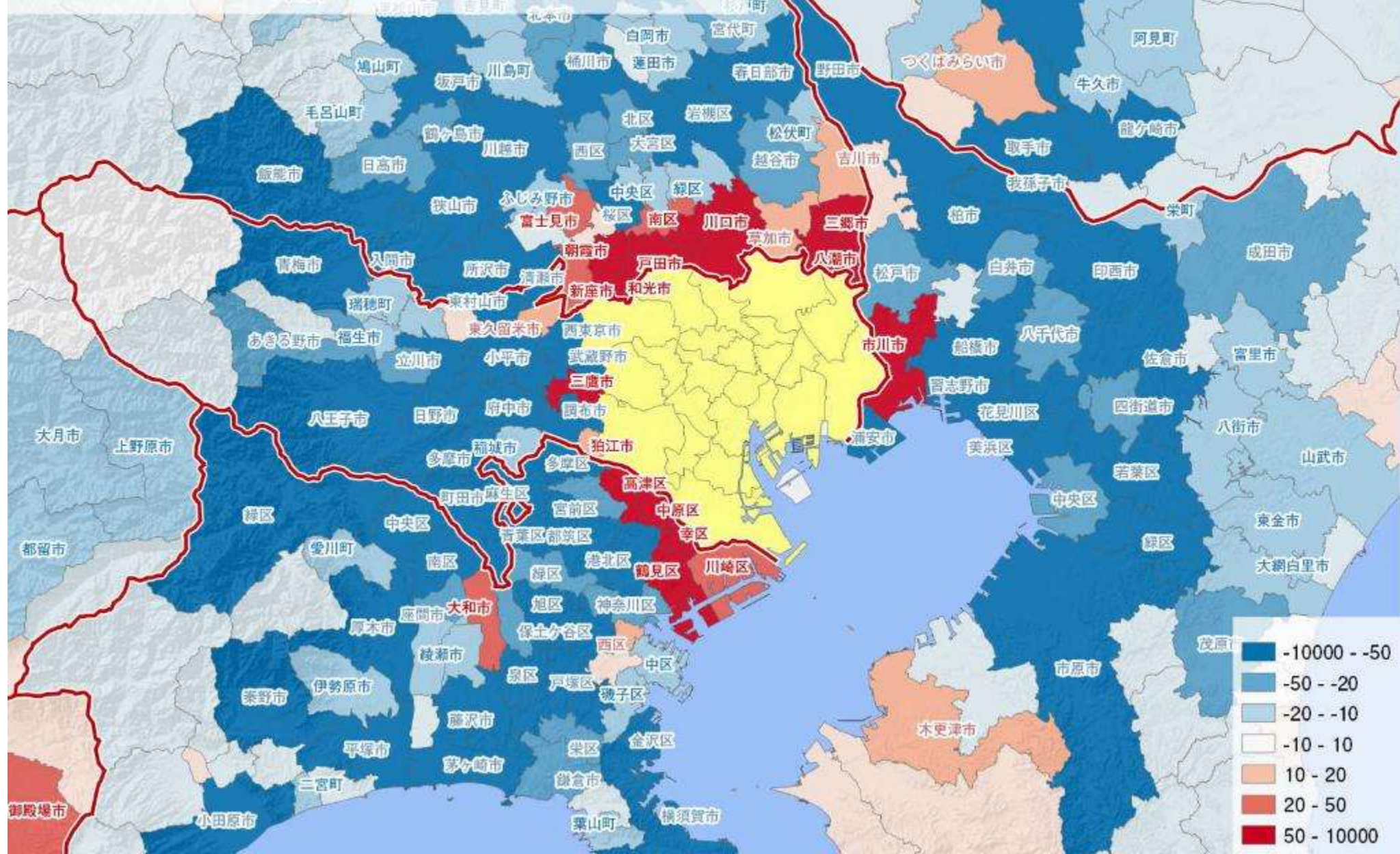
- 出典：総務省統計局「2015年国勢調査」 dataviz：kepler.gl



東京23区との転入・転出超過数 (25~29歳)

出典：総務省統計局「2015年国勢調査」

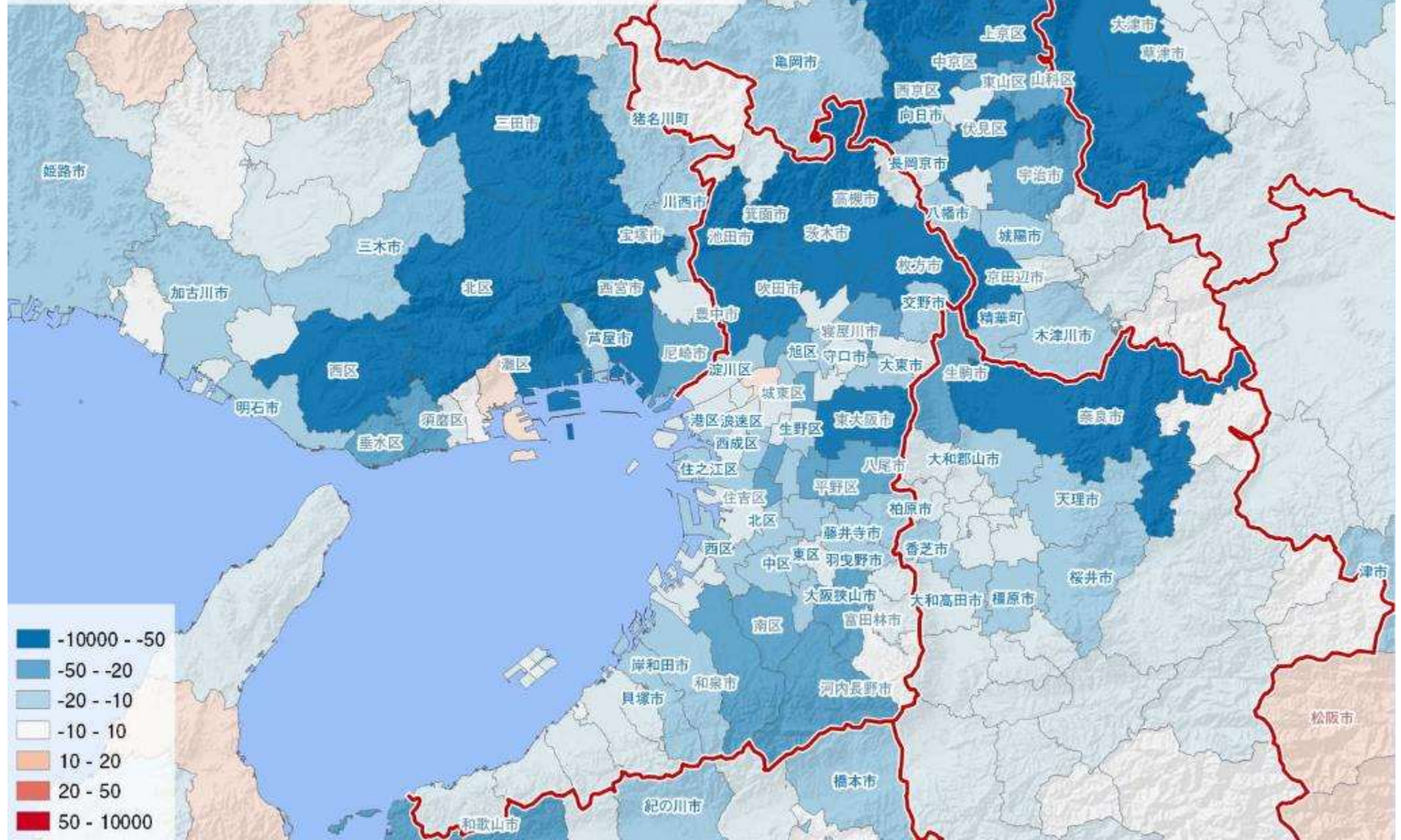
※プラス・・・転入超過、マイナス・・・転出超過



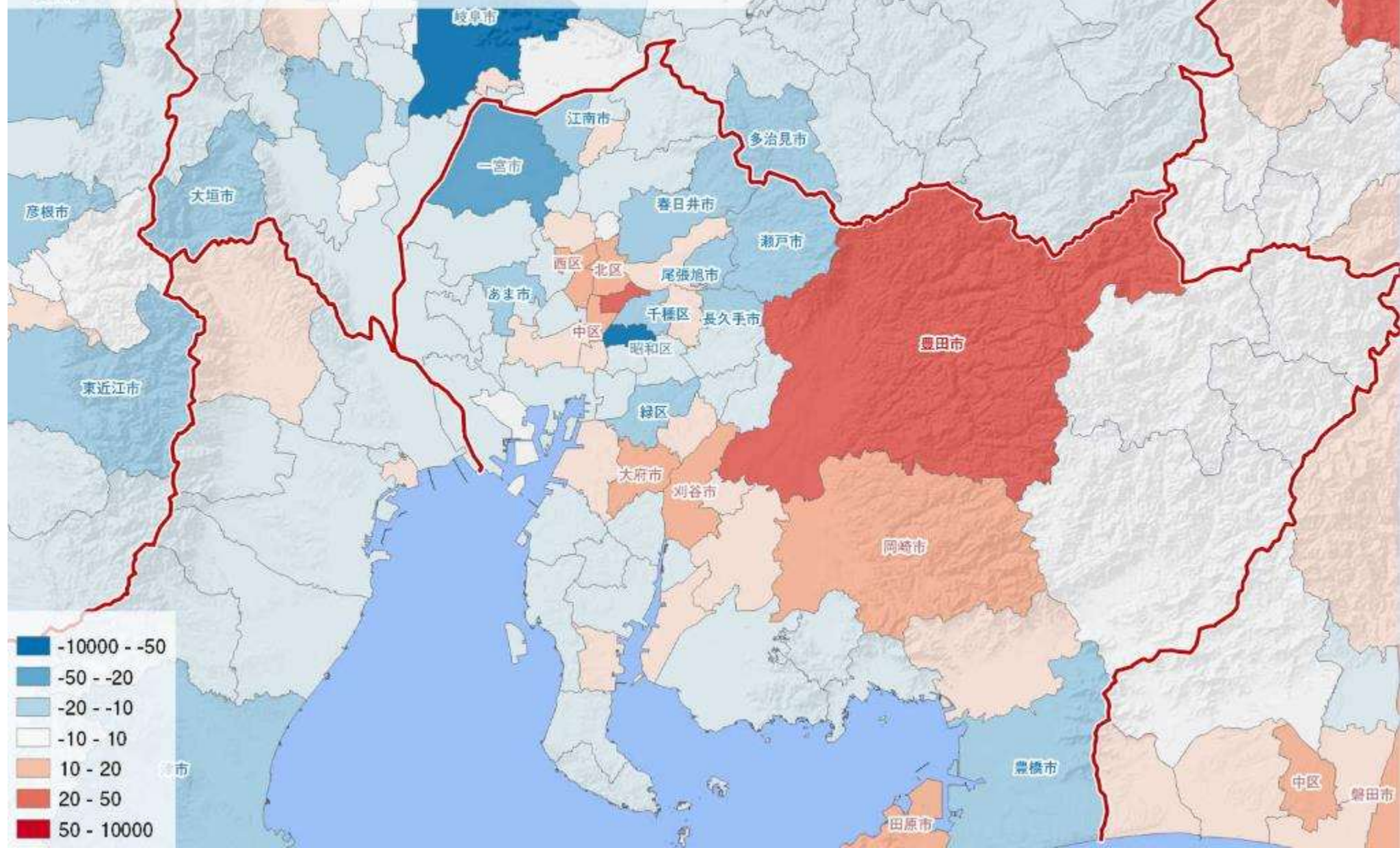
東京23区との転入・転出超過数 (25~29歳)

出典：総務省統計局『2015年国勢調査』

※プラス・・・転入超過、マイナス・・・転出超過



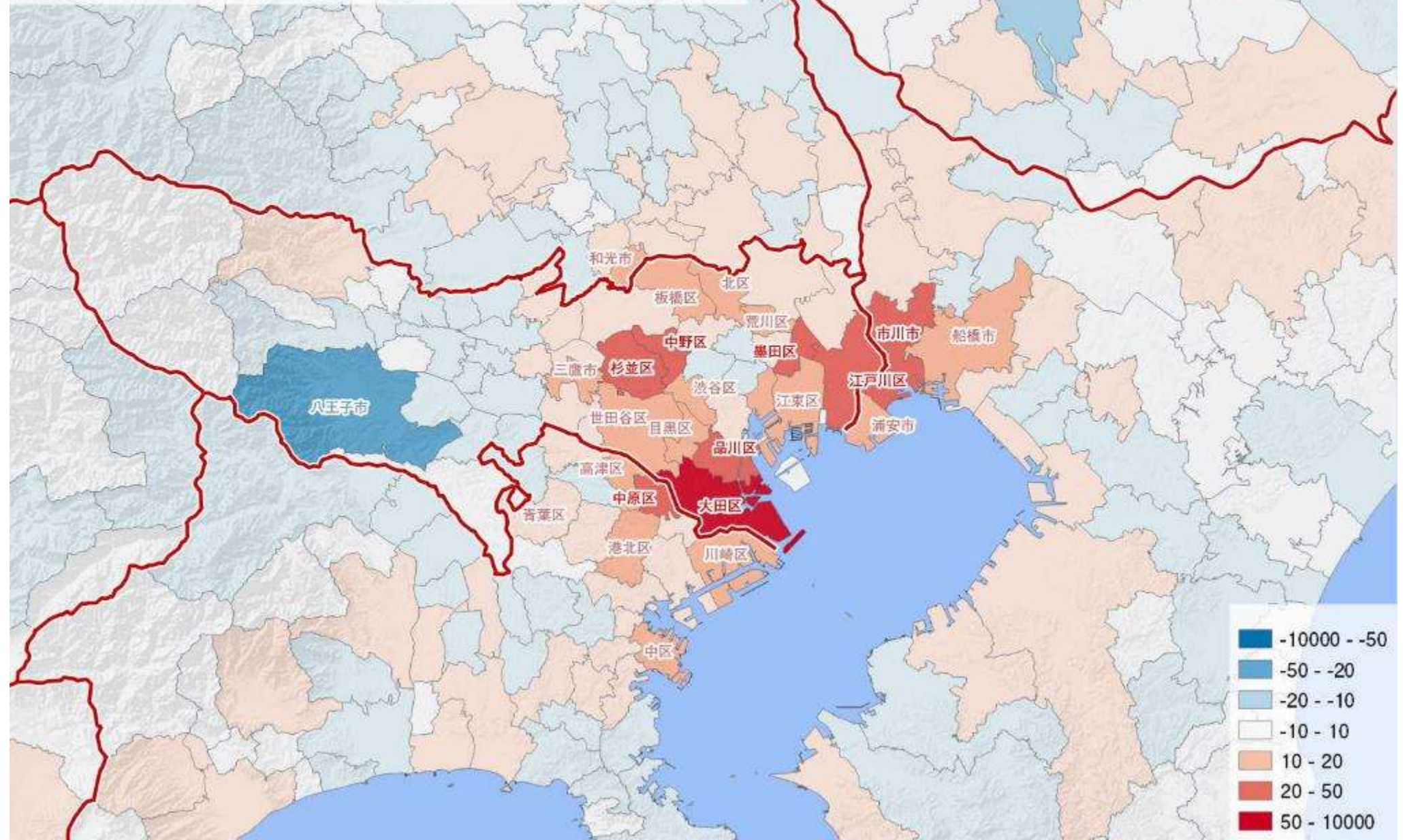
※プラス・・・転入超過、マイナス・・・転出超過



大阪市との転入・転出超過数 (25~29歳)

出典：総務省統計局「2015年国勢調査」

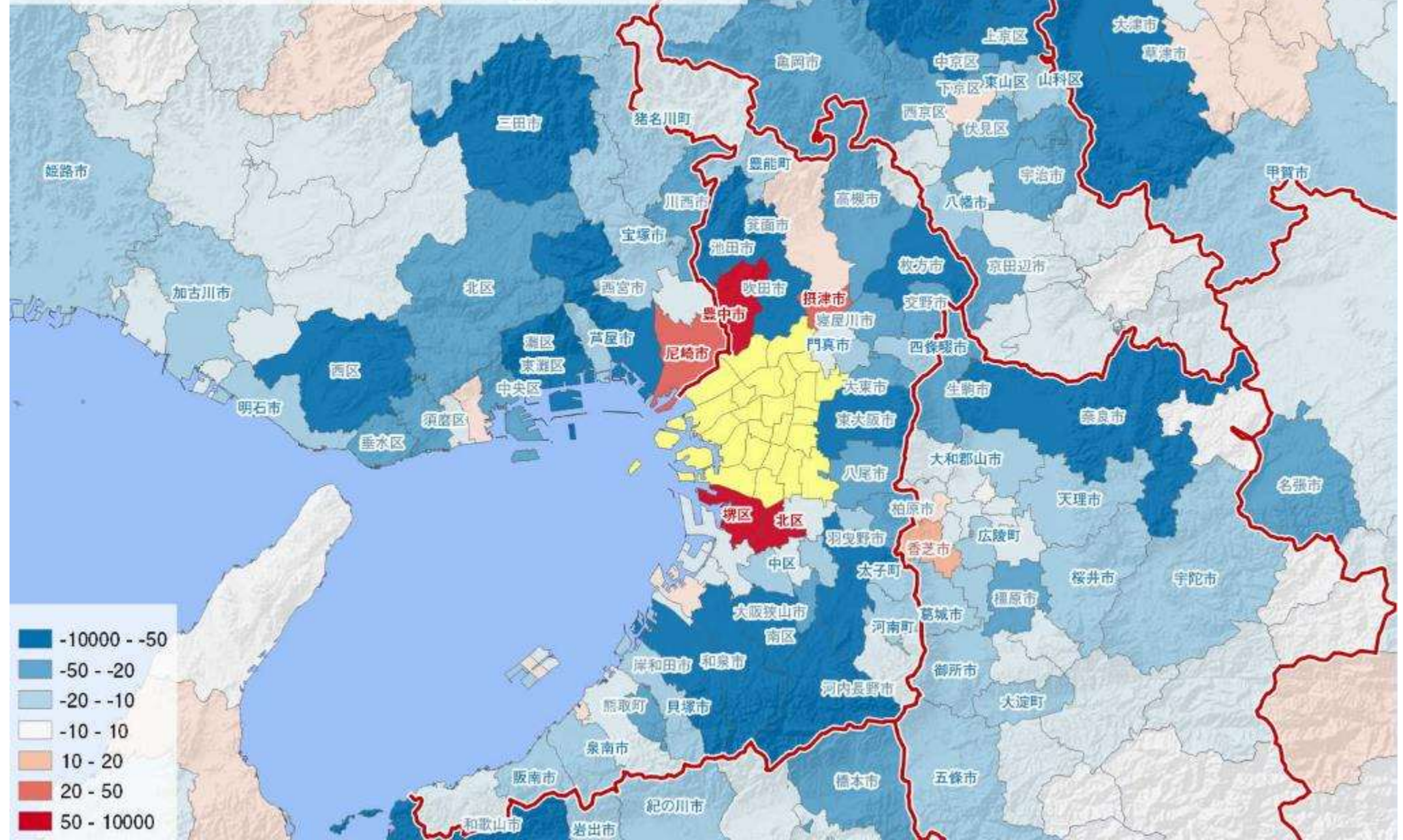
※プラス・・・転入超過、マイナス・・・転出超過



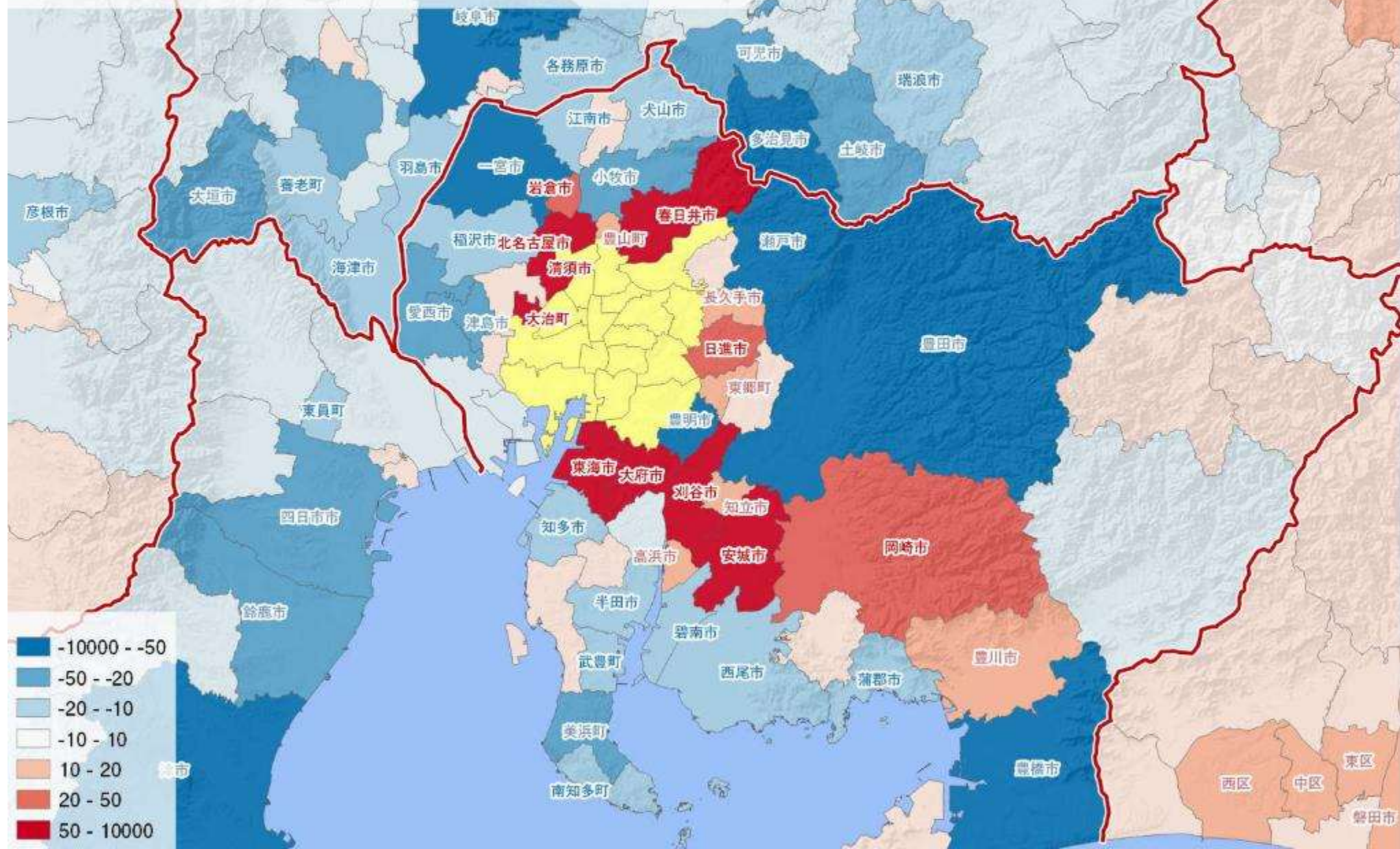
大阪市との転入・転出超過数 (25~29歳)

出典：総務省統計局『2015年国勢調査』

※プラス・・・転入超過、マイナス・・・転出超過



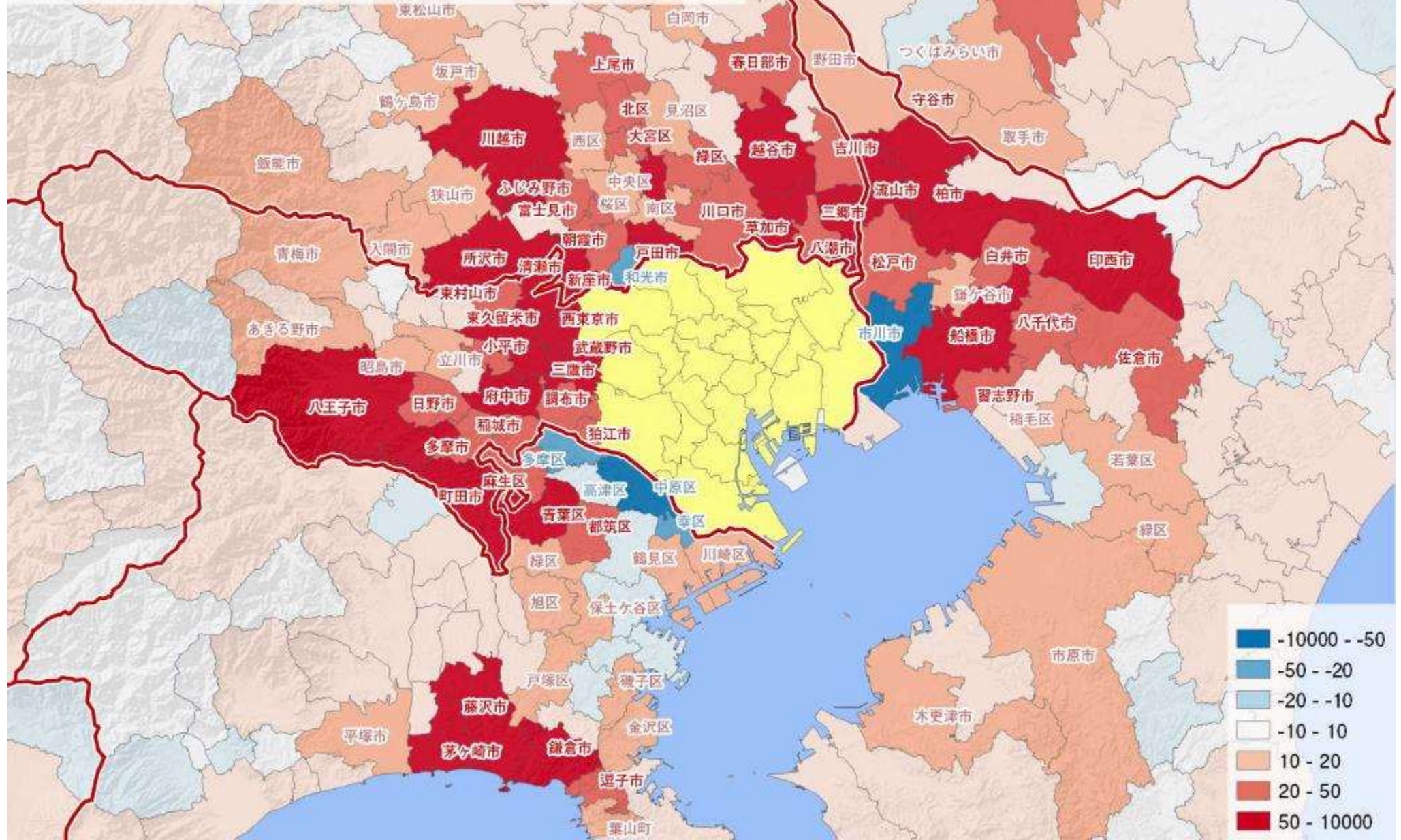
※プラス・・・転入超過、マイナス・・・転出超過



東京23区との転入・転出超過数 (5~9歳)

出典：総務省統計局「2015年国勢調査」

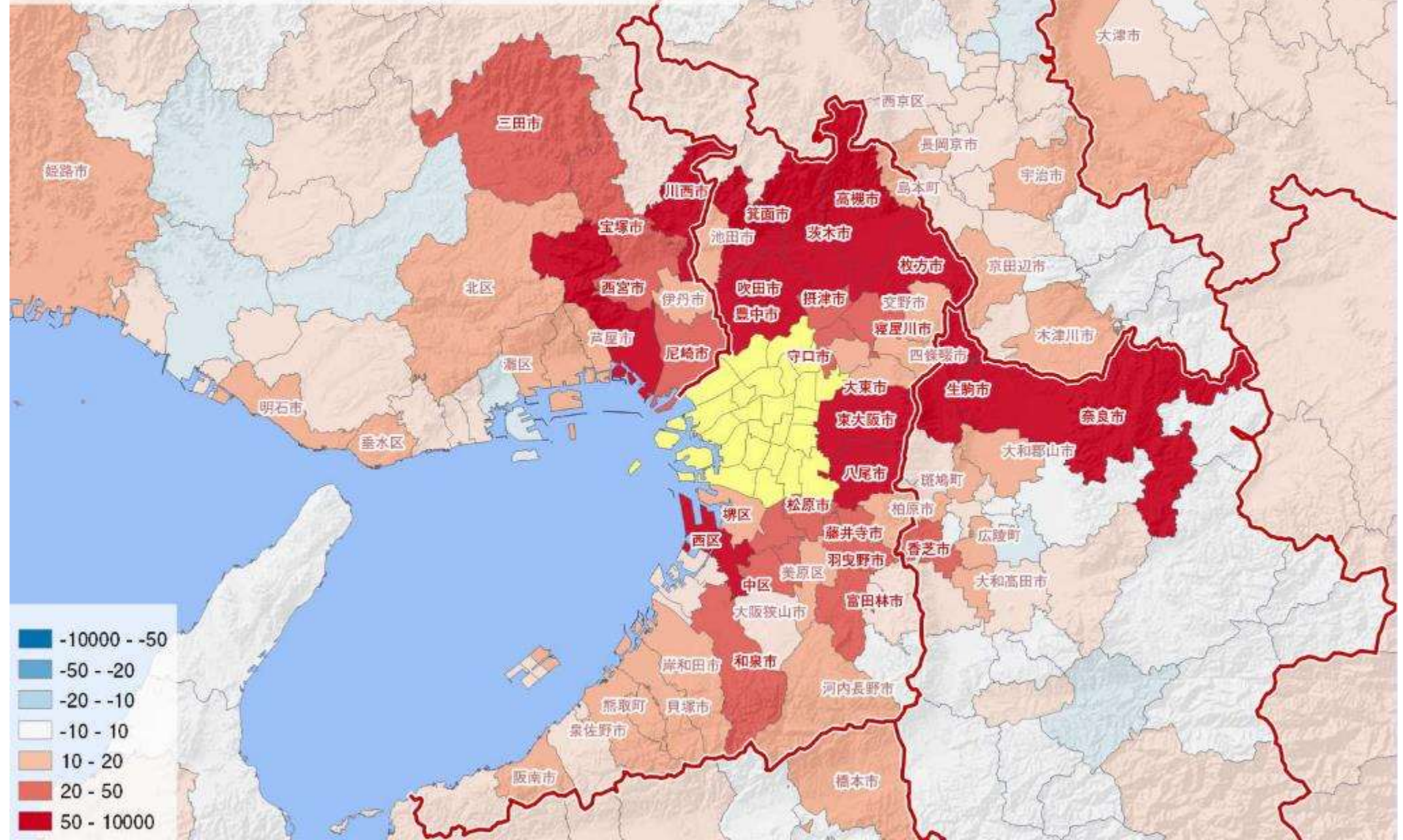
※プラス・・・転入超過、マイナス・・・転出超過



大阪市との転入・転出超過数 (5~9歳)

出典：総務省統計局「2015年国勢調査」

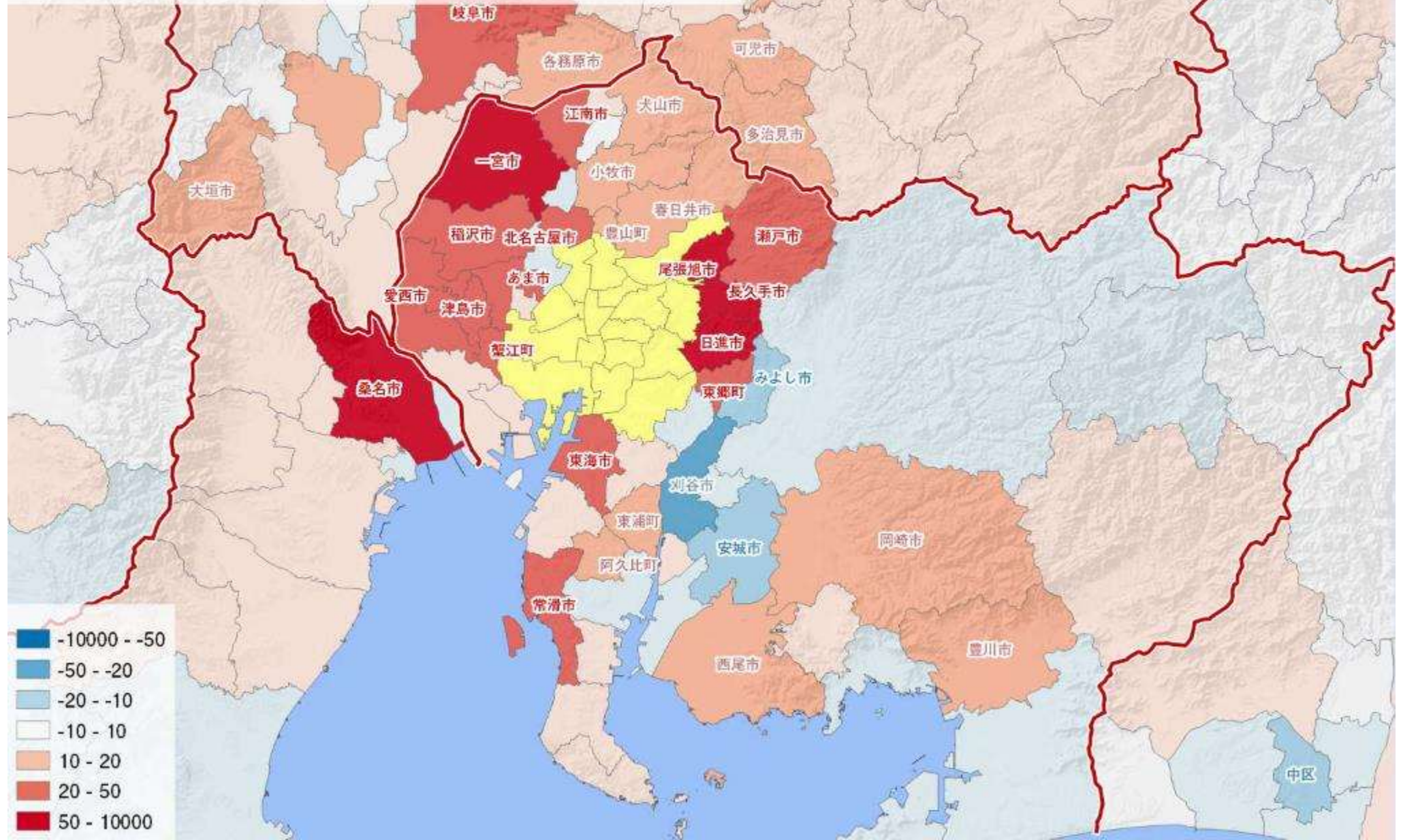
※プラス・・・転入超過、マイナス・・・転出超過



名古屋市との転入・転出超過数 (5~9歳)

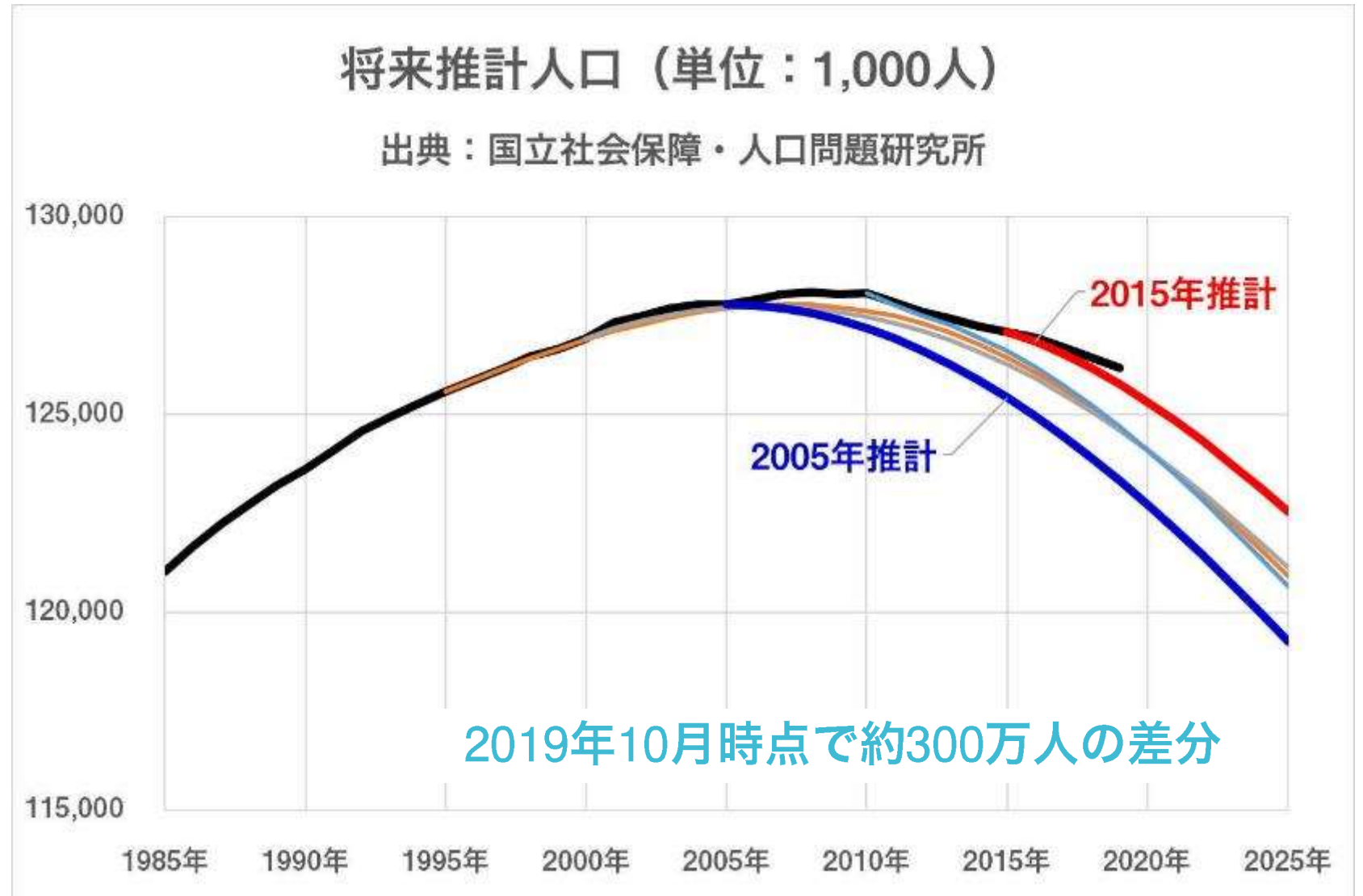
出典：総務省統計局「2015年国勢調査」

※プラス・・・転入超過、マイナス・・・転出超過



2. オープンデータで占う都市の未来

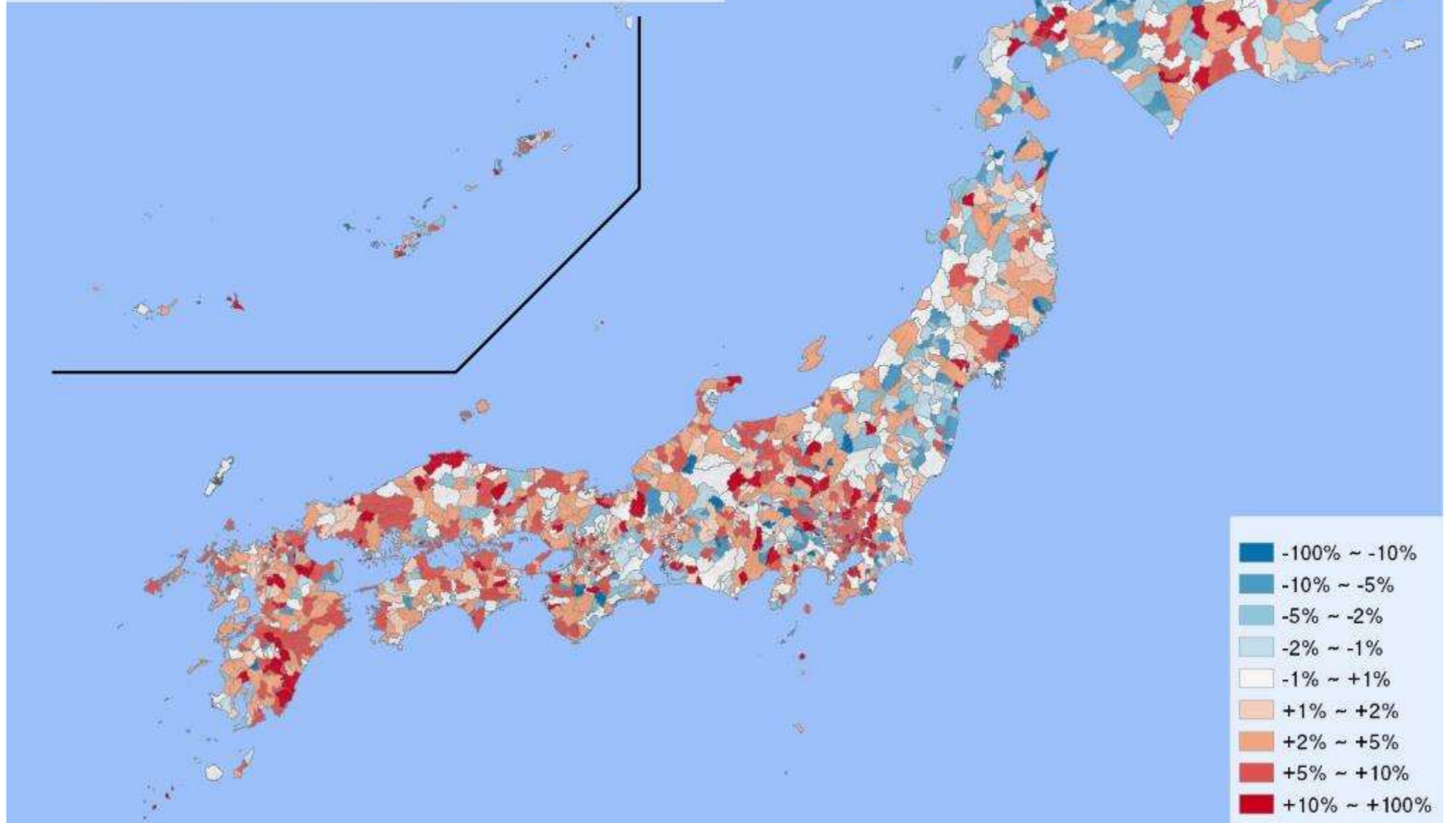
データに
基づく
未来予測は
難しい



↑ 縦軸注意！

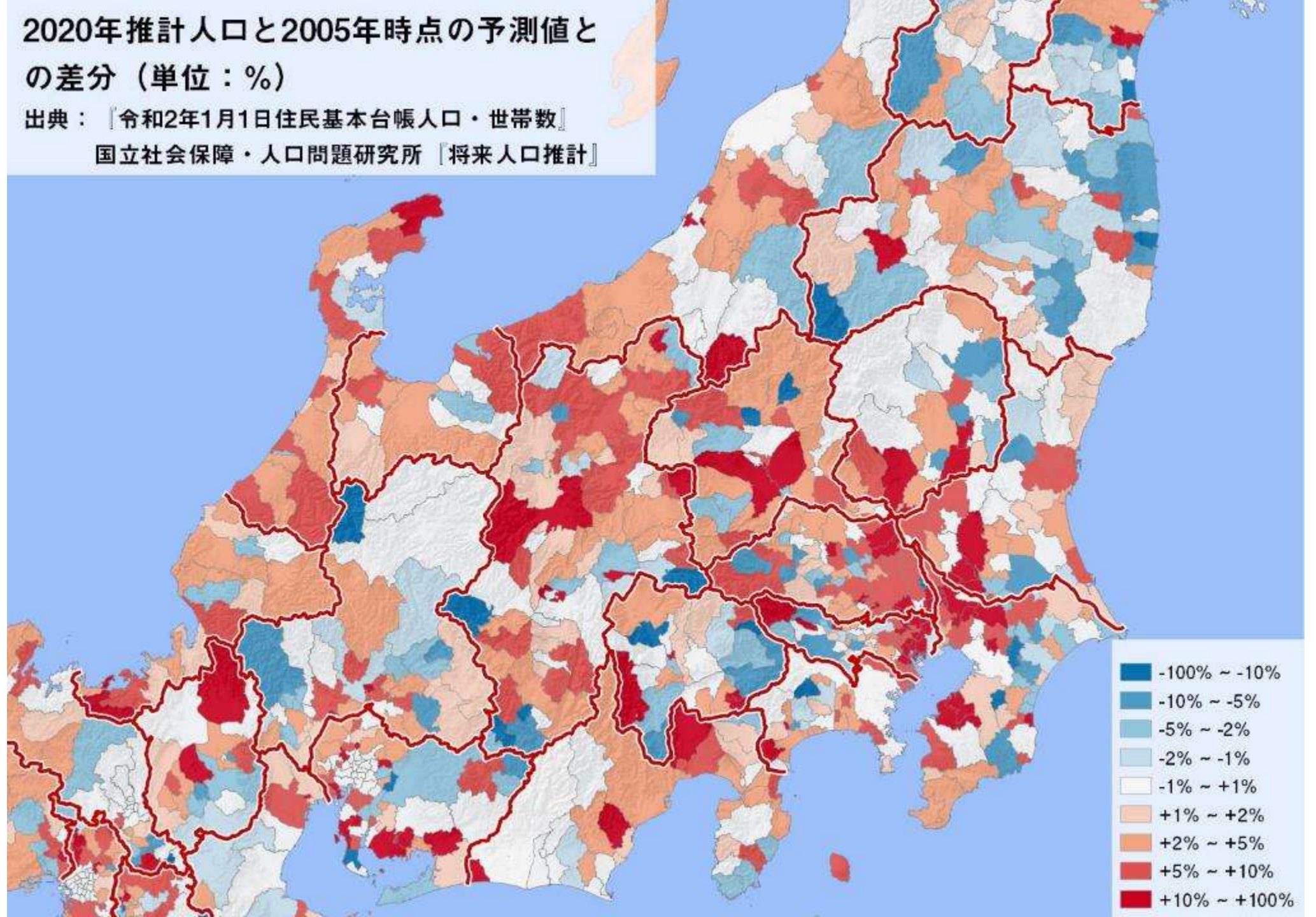
2020年推計人口と2005年時点の予測値との差分（単位：％）

出典：『令和2年1月1日住民基本台帳人口・世帯数』
国立社会保障・人口問題研究所『将来人口推計』



2020年推計人口と2005年時点の予測値との差分（単位：％）

出典：『令和2年1月1日住民基本台帳人口・世帯数』
国立社会保障・人口問題研究所『将来人口推計』



なぜ難しい？

人口増加要因

出生

転入

人口減少要因

死亡

転出

- ・ 出生率 : 社会情勢、価値観の変化などの影響
- ・ 転入・転出 : 家族構成の変化（同居⇔独立）
転居先に対する嗜好の変化（都心⇔郊外）

各地域の求人倍率

各地域の住宅供給・地価・物価・賃金

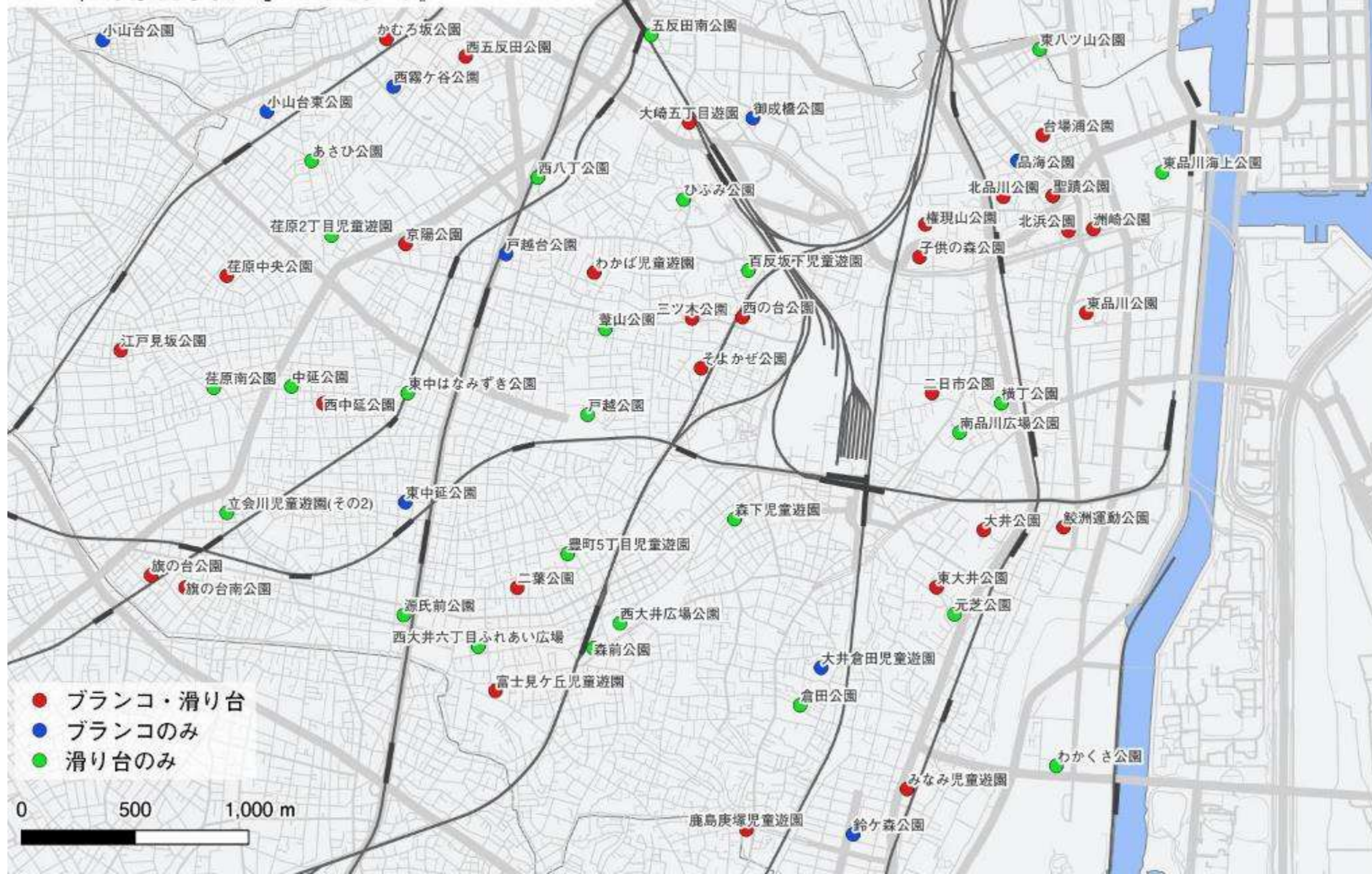
難しいながらも・・・

要所要所で「可視化」しながら、
定量的なアプローチでデータを整理することで
課題解決に向けたヒントが得られるのではないか。

- ・ KPIを実現している自治体・地域の共通項を探ってみる
- ・ クラスタリング
- ・ 多変量時系列モデルの構築
- ・ 住みやすさのスコア化（例：Liveable Well-Being City）
 - ・ 各世代の転入・転出数を目的変数とする？

ブランコ・滑り台のある児童公園

出典：品川区オープンデータ「しながわパパママ応援アプリ内
「こうえんしょうかい」ページのデータ」

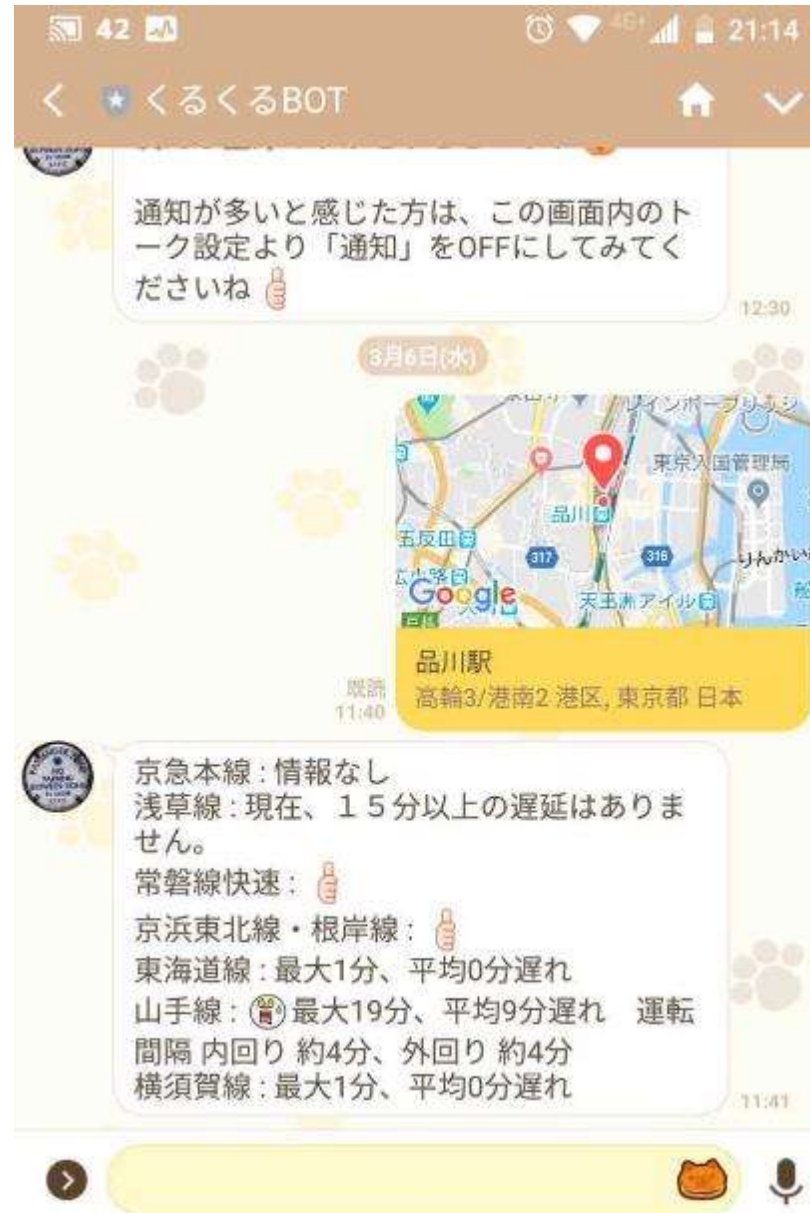


電車の見える児童公園

出典：品川区オープンデータ「しながわパパママ応援アプリ内
「こうえんしょうかい」ページのデータ」



LINEで 情報提供？



最寄り駅の列車のリアルタイム
遅延状況がすぐわかるアプリ

第3回東京公共交通オープンデー
タチャレンジの「列車運行情
報」を使用

LINEで 情報提供？



CityBikes APIよりシェアバイクのリアルタイム空き状況を取得

デジタルツイン



都市をバーチャル空間上に表現し、リアルタイム情報を提供する

オープン データの 普及に向けた ハードル...

<利用者目線>

- 提供主体によってフォーマットが異なる
 - 掲載項目、カラムの形式、文字コード、ファイル形式等々...
 - データ加工・整形のコストを利用者が負担することになる
 - 👍 埼玉県：2016年に県内共通データフォーマットを策定
- 同じ地域で類似のオープンデータが複数存在する
 - (例) 東京都「だれでも東京」
 - 高齢者や子連れに配慮された施設のデータベース
 - 👍 民間の飲食・宿泊・商業施設などを一部カバー
 - 😞 市区町村の施設は原則として未登録
 - 😞 福祉保健局「だれでもトイレのバリアフリー情報」と一部重複
- 公開前提でないデータを後から公開すると...
 - (例) 東京都「感染拡大防止徹底宣言 登録店舗」
 - 👍 第三者提供に同意した店舗のみ掲載（これはよい）
 - 😞 2020年7月31日以前の登録店舗は別途Web申請が必要

オープン データの 普及に向けた ハードル...

<利用者目線>

- ・ 状態遷移するデータは、最新の情報が欲しい
 - ・ 最新情報をAPIやオープンデータで提供することで
公営 or 自治体出資先のアセットの利用率向上が期待される
 - ・ (例) △昨年度末時点のレンタサイクル事業者の電話番号
○レンタサイクルのポート一覧
◎レンタサイクルのポートの空き状況
- ・ データカタログ上、404 Errorになっているものが散見される
- ・ データカタログと自治体サイトでデータのVer.が異なる場合も
- ・ 継続的に更新されるデータがあまり多くない
 - ・ オープンデータに依存するサービスが遺産化してしまう

3. データ可視化って難しい？

難しくは
ありません！

- 原則、**オープンデータ**を利用

- 総務省統計局「e-Stat」
- 社会基盤情報流通推進協会（AIGID）「G空間情報センター」
- 公共交通オープンデータ協議会事務局「東京公共交通オープンデータチャレンジ」
- その他、自治体や大学、企業等の無償配布データ

- 原則、**フリーソフト**を利用

- データ整形 : Microsoft Excel, Power BI ←有償
- 主題図作成 : QGIS (GIS)
- 大量データ処理 : Python (プログラミング言語)
- ビジュアライズ : Kepler.gl (WebGIS)
Mapbox GL JS (開発用ライブラリ)
- 動画変換 : ffmpeg (動画処理ソフト)

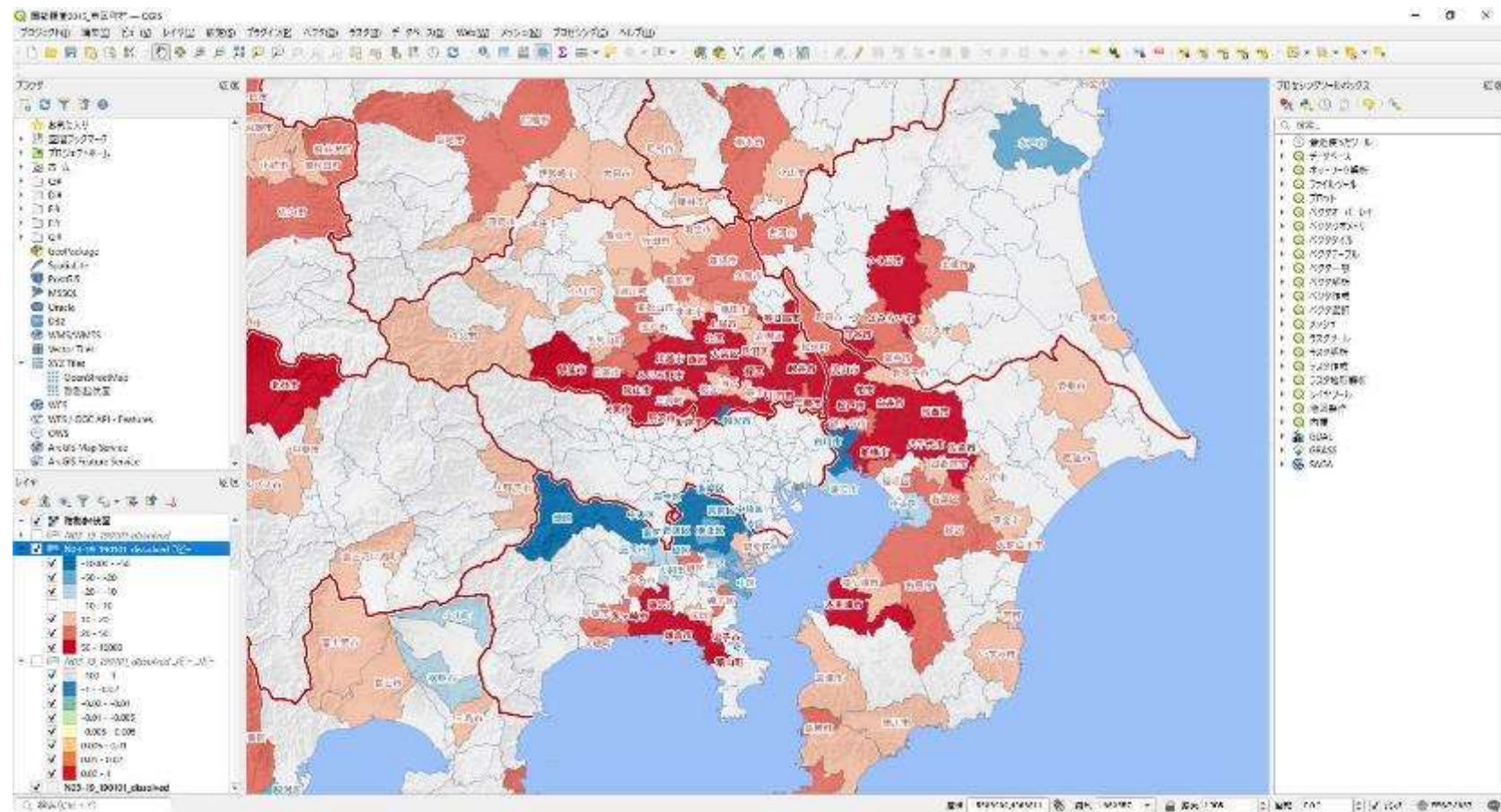
3. データ可視化って難しい？

e-Stat (政府統計の 総合窓口)



各種統計をクロス集計し、自分好みのレイアウトで出力可能

QGIS



オープンソースのGIS（地理情報システム）

最後に

- 可視化することで見えてくるものがある
- お絵かきから「定量分析&プロダクト提供」に深化していきたい
- オープンデータの拡充・改善に向けて市民・開発者の立場で何ができるか？
- オープンデータ×可視化の分野はわりと孤独。仲間募集中！